

お正月は毎年、祖父の墓参りに行く。見渡す限りに並ぶお墓や石碑に刻まれている名前を眺めていると不思議な気持ちになる。すでに還っていったひとたちの大量の歴史。人類の風習……って思う。

私としては死んだ後も地に埋められて窮屈な思いをするなんてまっぴらごめんなので、頼むから海に骨を撒いてほしい。去年、死の気配を察知した時期に勢いで生命保険を契約した。心情的な面はどうしようもないが、自分がどうしようもなくなったあとも金銭面で迷惑をかけることはないと思うと気が楽だ。かなり精神衛生にいい。心がつらくなった時の励まし文言リストに、（でも私、今死んだってウン万を家族に残せるし……）が追加された。若くて元気なひとはワンコインに近い価格で入れるので、かなりおすすめ。誰へのプレゼンなんだろう……。でも本当に良かったから……。

でもまあ死んだら終わりだと信じているので、ほんととは墓に入れようが海に放そうが好きないようにしてくれて全然構わないです。

年が明けてしまったらしいがどうでもいい。2022 年が終わる瞬間はアイドリッシュセブンに明け渡したので、いつにも増して実感がないな……。まあ心配しなくたって来年も正月はくるから、たまには普通の日っばい正月にしちゃうでしょう。

服を買いに行かないといけない。コートもぼろぼろだ。でもそんな体力が果たしてあるだろうか。ほんととはひらひらのワンピースにしか興味ないのに。春が来るまで眠っていたい。

年末に日本酒で結構憂き目を見たので、以後若干気をつけていく。

終わった、と思うと、すとん、とした気分になった。車の中で隣の席に座っていたいちばんしたの妹が私にもたれかかって眠っている。私はもういきものを相手にこんなに体重を預けることはできないだろうな、とうっすら思う。

無防備になりたい。そのせいで強い傷を受けるとしても、そういうのはなんてことないから。そうわかっていながら穏やかな無難を選んでいる。そのせいで逃げていく大事なものは目に見えないまま。取り返しのつかない重大な喪失にも気付けないまま。愚かしい。やっぱりなにも失いたくなんてないんだよな。全部もぎ取ってここにいたい。

あかるい後悔

長い距離を移動する。少し眠った。始まりの日だなんて思うとギャップですごいことになるからただの冬の日だと思っている。晴れてよかった。いつも通りの白い朝。いつもよりすこし透明な朝。

思い出話をしようと思う。

いちばんさいしょは冬の日だった。寒い放課後、駅のドリンクコーナー、窓辺の席。そこがいつもの場所って呼べるくらい、勉強をつまみに何時間も話をするのはいつの間にか普通のことになっていた。特異な時間だったんだなって今振り返ると思う。あんなに不安定な安定を、今後得ることはもうないだろう。あの子にとってどうかとかは全然知らない。ただ、ふたりでいた。だからひとりじゃなかった。それだけ。今となったら、共有した時間だけが唯一の本物だ。

実際の頻度は忘れたけれど、結構な時間を過ごした気がする。執着してることに自分で気付くまでの執着に、あの子は多分気付いてたと思う。自覚してから気をつけるようになった。春、同じクラスになったのをきっかけにグループで仲良くはしていたけれど、なめらかな関係が生まれたのは冬になってからだ。私のことは最初あんまり得意じゃなかった、と、一度そんなことを言われた気がする（高校に入学したあたりから、他人に与える第一印象が中身と真逆になることが多くなった。改めて言っておくと私はただの陰気で根暗なひねくれ女だ）。

いつだったか、セブンのえびグラタンを美味しいと言ってその子が食べてた、気がする。あの丸い容器とチーズの焦げ目をふとしたときに見かけると、なんとなく、記憶の輪郭が浮かぶことが多い。

私にしか話したことないよ、と、言われながらされた話もいくつかあった。あの子の秘密はもう解けて、多分今は跡形もないんだろうけれど、あの時の私にとったらやっぱりそれは特別で、わたしもあの時、あの子にしかできなかった話が沢山あったよ。

あの頃に日記を書いてなくてよかった。そのままの色の過去じゃ、多分量が多すぎて、それから逃げられなくなって、過去を舐めながら過ごすことになってただろうな。

もう二度と思い出さないような、すでに取り零したものがたくさんあるから、そのおかげでうまれた隙を縫うように現在の中で生きていける。

家に帰りたくない、とあの子が泣いた日があった。今より世界はずっと狭くて、暗くて、無限だった。あまりにもどこにも逃げ場がなかった。テスト前だった気がする。お母さんに電話して友達を泊めてほしいってお願いして、でもそれくらいしかできなかったのがどうしようもなかった。それでも多分、それで良かった。

窒息しそうな日常を過ごしていると、根本的な解決じゃなくても、ひと呼吸つけるくらいのちいさな逃げ場が必要なタイミングがあって、あの時はたしかにそうだった。

家に着いて、お母さんが作ってくれたナポリタンを食べた。その子はテスト勉強を寝る直前

までして、それから並んで眠った。朝になったらまったく同じ道を通して高校に行った。たったそれだけの素朴な記憶だ。交わした会話も私ははっきり覚えていない。でも時折、強く思い出す。夜の中で丸くなって震えていた背中のことを。

つい先日、その子ともうひとりの友人と夜通しカラオケで過ごしてたんだけど、嵐の Love so sweet を歌ってる時、突然その子が泣いた。

「いい歌詞やなあって思って」。なんだかたまらなくなって、静かにびっくりして結局何も言えなかった。

わたしだけの宝物を大事に大事に撫でながら生きていくのが得意だ。人生の初期に苦しめられた初恋の人間への執着から逃げ出せたのは距離の協力のおかげだった。私の意志が無力なのは思い知っている。

環境が大きく変わらない限り、私たちは定期的に会ってしまうような仲ではあるし、私はネットワークも軽いから、きっとそういう流れになってしまったら全然会いにも行ってしまう。

こんな調子じゃどんどんきらきらになってしまうのに、終わりのスイッチが手元にはない。初恋の時は卒業っていうおおきな到達点があったけれど、もう、本当にそういう区切りがないのだ。

オール明けでだるい体を引きずって入った快活 CLUB の、白くて明るい女性専用フロア。わざとらしい芳香剤の匂いの中で、そんな絶望を目の当たりにしてぐったりしてしまった。

酔いも残ってたしあんまり覚えてないけど、帰りの始発電車の中で、次の約束がある安心感が最近沁みるよねって話していた。私の都合が悪くなったせいでなくなっちゃった猫カフェの約束も、「行こうなあ」ってその子が言ってくれて、また連絡するわって私は頷いて、笑って、軽いハグとハイタッチをして、去年と同じように手を振った。

叶うならもうこれっきり会いたくない、と強く感じてしまった。でも同時にその子は大事な友人でもあるから、その感情だけで断ち切ることは出来ないんだろう。

あの子の人生での私の立ち位置が、なるべく影の薄い登場人物であってほしい。どんな変容もしないままで、レールの歪みはないままで。今の願いはそれだけ。あの子の結婚式に笑って出たい。無事に終わりを迎えられるように。これが今年最初の祈りです。

書き忘れるところだった。危ない。一日でも書かない日を許してしまうともうそれっきり一文字も書かないような気がしてしまっている。一文字でもいいから毎日書く。

昨日は和歌山にあるテーマパークに行ってきた。いろいろ気が塞がっていて気分的にはまずまずな一日だった。ここ数日、憂鬱イベントも重なっていた気もする。とことん引きこもることなどでなんとかことなきを得ている。

お土産を選んでレジまでの列に並んでいる時、移動するから上着を取りに来て、と電話がかかってきた。並んでることを伝えて妹に持ってきてもらった後、どこに移動するのかを聞き忘れたことに気付いた。置いてかれちゃったな〜と、鬱々としながらテーマパークをひとりで巡って、いよいよ家族を見つけられなかったので LINE すると、ずっとお土産売り場の外で待ってたんよ、と妹が教えてくれて、泣きそうな気分になってしまった。

他人の無自覚な悪意に傷つくときより自分がどうしようもない奴だと気付いてしまう瞬間の方がよっぽどつらい。欲しいものをちゃんと欲しがる能力がなさすぎる。人の善意を信じて傷つく方がよっぽどましだと頭ではわかってるんだけども……。新年早々己の冷たさを骨の髄まで味わってしまい、あーあ……。になっていた。

同人誌の修正作業をしていたが、文章全体に対して（あれ、なんか下手くそ……。？）になり、笑ってしまった。毎日新鮮な文を書いてるから陳腐な描写が目につくようになったのかな。知らんけど。伸びしろを発見したような気がして嬉しい。

メルカリ、評価後に相手のメッセージが見えるように仕様変更されたんだけど、本当に本当に嫌。やめてほしい。

明日こそは服を買いに行く。白味噌のお雑煮を食べた。生きるパワーを取り戻せない。焼き鳥と焼きいかをおつまみにすると無限に飲めてしまうことに気付いた。祝日と休日の間に休みをとって岩手に向かう作戦を立てている。一ヶ月で壊れたモニターの保証書を見つけれない。呼吸してるだけなのに人生の項目が多すぎる。鳥の動画を見ている。休みじゃない毎日のことをもう既に忘れている。

230103

疲れた。頭が動かない。服を買うときって使う頭の部位が多すぎてあっという間にキャパオーバーになってしまう。うろうろしまくって疲労をピークにさせて判断力を鈍らせて勢いで購入する、という流れでしか服を買えないので、毎度げっそりしてしまう。

向こう三年は服を買いたくなくなってしまったが、無事にワンピースとコートを得た。なんとか越冬できそう……。最後は課金で解決してしまった。高い服はそれだけで価値があり、楽だな……。しかし、ときめきもクソもなく、悲しい……。

一昔前までは服屋に入るたびに店員さんを相手に接客するみたいな事態になってもそこそこ上手くやれていた。でも、あるときちゃんと対応してた私に対して思いっきり雑なあしらひ方をされてから、それがまったく無駄な労力だったことに気付いちゃったんよね。それから物色中はなるべく店員避けをしてしまうようになったんやけど。

元々決断力はない性格をしてるから、鏡の前で（う～……）になってるうちに話しかけられるんだけど、30パーの出力で対応していたら自分の愛想の悪さと店員さんの微妙な態度でがつり自己嫌悪に陥ってへこんでしまい、かなり面倒臭いな……になってしまった。何が、ではなく、自分が。

まあいい。

よく物を無くしたり壊したりする。安価とか高価とかはまったく関係ない。私はもう慣れたけれど、周りの人間はまだ慣れていない、らしい。

家族と生活していると必然的にそれが他人に露呈する、という事態が発生する。なんらかのリアクションを取られると、別にそういう解釈をしてなかった自分にまで（ああ、そうかあ……）とじんわりマイナスの事象として位置付けられてしまう。ということが起こっているらしい。こうやって自覚して言語化できるようになったのも最近の話だ。少し前までは何に傷ついているのかさえ理解できておらず、グロい深傷を負ったりしていた。成長である。涙ぐましいね。うーん。全然思っていないね。

私は根がポジティブだ。多分。ネガティブすぎてポジティブ、が正しい。そりゃあ、私だっていつも悲しい。一ヶ月しか使ってないモニターが壊れたり、正月から3万のイヤホンを紛失したり、しばしば徹夜しながら二週間かけて必死で縫った体育祭のダンスの衣装を当日忘れたり、大事な仕事の日に財布と定期をバス停に置いてバスに乗ったり。ああ、一瞬しか回想してないのにめちゃくちゃ出てきた。ネタに困らない人生っていいね。いいですね。そう、ここで私が本気でへこんでどうしていつもこうなんだろう！毎回ちゃんと反省してるのに！って泣いても結局誰も笑ってくれないのだ。自分も含めて。だったら笑った方が損失をかなり取り返せる、そうでしょ？　もちろん人様に迷惑かけてるなら誠心誠意謝る、でも、そうでもないならもういいじゃんね。

ネタにしてやる、っていう強い怒りに似たエネルギー、それで事態が好転したことも、なんだかんだあったりするし。私の人生を聞いた他人が見せてくれる（それはマジでやばいね）っていう表情、私大好きだよ。みんなこれから私の人生でいっぱいびっくりしていっぱい

笑ってね。

まあいい。全然どうでもいいことを話しました。

いかんせんかなり疲れているらしい。ちょっとキレている。珍しいね。

Kindle 端末がさっき届いたんだあ。人生の暇つぶしにお金が吸われていく。でももう当分は読書と日記と勉強しかする予定はない……。いや、ちょっとライブも行くけど。岩手も行くけど。それだけだから、多分大丈夫……でしょう。

明日から仕事始めです。どうなっても人生続くと思えば、結構余裕だよね。うっかり死んだりとかあんまないし。毎日、心を殺さない程度に、なるべくがんばるようになる。なぜか沈んだ正月になってしまったけれど、メンタルバランスの関係なのかな？ なるべく元気に生きていきたいよねえ。

通常通りのぼろぼろ出勤。

4時ぐらいに目が覚めてなぜかそのまま寝付けなかった。ああ今しかないんやなあって恋人のことも振ってきた。気が重い。毛布の中で嵐の曲を静かに聴いてた。すごく好きな一曲があるんだけど、聴いてると M ステを録り逃して悔しかったことを思い出す。まだ思い出すんだあって思う。小学生の頃の話なのに。

Love so sweet で泣いていた。また忘れられなくなるんだなあって思う。

自分は人に執着できない性格をしてるんだと定義付けていた。でも本当は全然真逆で、多分誰よりも執着しいだな。最近うすうす気付いてる。ずっと頑なに、完璧に対して執着をしてる。

人に執着できない、じゃなくて、したくない、の間違い。そんで、したくない、の裏側には、したいけど、がいつもいる。結局出来ないのには変わらない。この位置でやっていくしかないんやろうか、って想像すると気が遠くなる。

自分に嘘をつきまくって押し殺しまくった心の代償なのかな。そう思うとしっくりくる。満たされない欲は膨らむばかりだから、セルフオーダーがこびりつくのも当然。

人の文章読んでげらげら笑ってたらぜんぶどうでもよくなったんですけどね。カベポスターの漫才を聴きながらメイクしてた。おもしろいね。嘘でもいいから笑う、は、本物の笑いがバックにあることがやっぱり大事。

「失敗したときは笑っちゃえ」に対して、本当にそうだね、って思うときと、大丈夫じゃないときに笑わないで、って言いたくなるときがある、でも彼が歩いてるのは彼の人生で、私はまったく責任を取れないので、何も言わない……。

少女漫画でよく、3ポイントシュート決めたら付き合って、っていうやつあるじゃないですか。そういうシーンと、ブラホワ勝ったら手紙のこと教えてよ！！！！っていうももさんにいいよ……って返すゆきさんのやりとりが、なぜかダブってた(?) んだけど、なんか、そういうの、ふつうはひとりでキメるところを、ふたりでやるとこうなるんだって、たまらなく愛しいなあ……。

230104

ゆったりとした怠さがある。すべてのことが停滞しているように感じられて、とっても退屈。面白いものばかり見ていたいよ。でもな。

こちらの意思で別離する人間に対してどのくらいの傷をつけるのが誠実で、故意に爪を立てることのどこからが悪意になるのかがわからなくなってきて、困る。本当は、本当に、どうでもいい。私はね、傷つけるよりもず〜っと、傷つけられる方が何倍も好き。

執着ゲームの対戦相手を選ぶセンスがなさすぎる、という点において天才的な才能があるな、と、いつかに見つけた事実を再び突きつけられていて、うーん、無駄……になっている。私は本当に異性のことを信じるのが出来なさ過ぎて、かなりかったいガードを張っているらしい、ので、まともな人間はそもそも私に寄り付かない。生き残って私と親交を結ぼうとするのは言ってしまうえばそういった空気を感じ取る力がないひとだけ、なんて言い方をしたら本当に良くないし、これはただの仮説でしかないんだけど、でも、すごいことだよ、これは。バーバルコミュニケーションを意識しているにもかかわらず、マジで伝わらない……。解ろうという意志さえ、感じられない……。これも結局は主観の意見ではあるんですけどね。相手からしたら私が宇宙人なはずなので。

いや、そりゃあここでは奔放にやってるけど、一応ちゃんと一般的な言語を使って喋ってるよ。そういうつもり、ではあるんだけど……。こっちに問題がある？ やっぱり……？

鬱々としてる時って同じテイストの文章しか出てこなくてつまんない。私に縋り付く彼を見て、それが私には今したくてもできないことのひとつだから、実はその立ち位置で味わえる幸福もあるんですよ、ちゃんとわかってんの？ って、私の目線から言うとなッコミどころ満載になってしまう羨み（妬み！）を吐いている。あーあ。

でも結局、一時的に共感性や想像力をオフにできますよ、って持ちかけられても、怖くて頷くことはできないんだよな。別に今その能力がちゃんと備わってるってわけじゃなくて、元がないからこそ、そのわずかさえ失うのは心底恐ろしい。

悪循環だよな。ガードが固いせいでろくでもない男の人との経験値ばかり積んで、ますますどこにもいけなくなる。男の人じゃなくてこの人との問題、ってわかっているけど、なんか……。やっぱ心って、ある程度酷使すると、折れちゃうし。学習だってしちゃうし。次に期待もしなくなるし。

マジョリティの信仰なんて馬鹿みたいだけど、でも、これはなんというか、私と人との関係全般に根ざす問題である気がするから、結局到達地の方向を小手先で調整したところで、根本がダメなら無意味になってしまう気がするんだよねえ。杞憂かなあ。



起き抜けにこんな話したくなかったから夜のうちにしといた。劣悪文章だね。寝て起きて、ウワッってなったらちゃんと消しとく。どんなヘドロも実験的に吐き出してるけど、私からどろどろあふれる文章の中には、もちろん悪臭を放つものもある。から、気をつけてね。忠告おっそ……。

230105

寒くなってきた。やけに早く目が覚める。予定がきゅっと詰まっいて、何を言っても嘘臭くなる。

なくしたイヤホンのことを考えてる。割とずっと。大事にしてたものを失った経験があんまりないからかも。でも覚えてないだけかも……。

イヤホン、ないと外出できないぐらいには重要なアイテムで、私にとったら今回のことはかなりおおきな喪失だ。決して金銭的な意味だけではなく。

欲しいものは割と躊躇わずに、結局すぐに手に入れていた。欲しいものにはいつも飢えている。高揚の消費が早すぎて、こんなじゃすぐ世界に飽きちゃうんじゃない？ みたいなこともよく考える。でもまあ、いいんでしょう。

見たことないもの、聞いたことないもの、感じたことがないこと。それらに対してお金を払っていた。でも今はもう得てるものを失って、それからそれを手に入れたくなっている、再び。

好奇心が満たされてもなお欲しいままのもの、が生まれる感じが新鮮で、うわ〜ってなった。しばらくこの感じを楽しんでみるのもいいかもしれない。

\*\*\*

はい！ ここから退勤後。

失った感覚に耐えられなくて高いヘッドホンを購入してきた。明日死ぬと思って生きてるから。

始業後即、心が急に生き返って、突如みなぎってきたやる気とともに仕事してきた。憑き物が落ちた感じがする。いつも突然やってくるこの感じ。仕事面白すぎる！ 一生ここで働く…。みたいな気持ちになっていた。明日死ぬのか？

ミキサーになりたい、っていうメモが残ってるんだけど、どういうことかまったくわからない。

日記なんてやめてやるって強く思った、やめてやる。明日にはもうこんな……クソくらえだからな。

海に行くとき用のワンピースがある。

この間このワンピースの 20 倍の値段の黄色い可愛いワンピースを買ったけれど、このワンピースのかわいさには全然、ぜんっぜん適わない。

もう 16 歳の時から着ているからそろそろ卒業しないといけないな、と思いながらずるずると、夏になると引っ張り出してきてしまう。部屋に飾ってしまう。着てなくてもたまに洗濯していい匂いにして、海に行く時にはとうとう着てしまう。心底かわいいとため息を吐いてしまうくらい、惚れに惚れているワンピース。

思い切って捨てるのもリサイクルして処分するのも未練が残るだろうから、もうこれっきり、と本当に決意して本当に実行するなら、燃やすしかないな、とぼんやり思った。その火が心地いい季節がいいから、冬におこなうことにする。

星の王子さまから見た彼の"ばら"、それがわたしにとってのあのワンピースになるんだろうな、っていう感慨に着地して、今になって輪が閉じたような感じがする。

「断片的なものの社会学」を読み終わった。海中を漂ってるような気分になる本だった。また潜りたくなったときに読んだらいい。そのときの生活の陽の当たり方で、何回読んでも色を変えるんだろうな、って直感した本だった。もちろんそんなことはほとんどの再読に当てはまることではある。しかし、この本の中でどの部分を拾いにとってどんな切り取り方をするのも千差万別、同じ文章を読んでも引き出される感情は人それぞれまったく異なるもので、その地点でさえ同じ人間同士でもわかりあえない。それだけ読み方が多様で、しかし心にしんと触れてくる断片が散りばめられている。

海から浮き上がった時に浴びる太陽の光よりは、底をたゆたう砂のきらめきについて語っている本、って感じがした。

眠いからはよ寝る。原稿が大変まずい。計算上絶対に間に合わない。でも申し込み面倒だったし、再注文したくないなあ……。動機としては弱すぎる……。おすすめの追い込みがあれば教わりたい。

飲酒したいのに日記書いてなかった〜〜〜！ そういう事情があるので短い。

今年初の金曜だね。全然テンション上がってるとかそんなんではない。

この三日間の予定でもっとも「邪」なのが成人式。なんとか凌ぎたい……。行かないを選択すればよかった。この恨みを糧に、これを人生最後の世間体にしてやる。絶対。

髪を切りたくてたまらなくなっている。似合わないんだけどね。でも、短い髪が好き。丸い毛先が視界にちらつくから。

朝から白猫を見た。忙しい徒歩だった。お揃いだね。

猫との仲良くなりたさはある。でも、決して怯えさせたくないから透明になりたい。

小説を書きたくてたまらなくなっている。"なんでもいいけどなんかたべたい"。お母さんが一番迷惑がるオーダー。

血の話がだめで、だめなんだよね。だめなのに喋るのも矛盾するけど、でも今日強く思った。から残しておく。

エヴァ見たよ〜って話をしたときに、「でも血駄目ちゃうかったっけ？」って聞かれた。ああ……確かに……。ちょっと考えて、「嘔き出す血は大丈夫なんよね。滴る血はだめ」って答えた。

字で読む血の話もだめだけど、肉声で聞く血の話はもっとだめ。多分逃げられないからだと思う。字なら目を逸らせばとりあえずの情報カットはできるけど、肉声だと耳を塞いで避難するってことが難しい状況の方が多い。職場でたまに軽い怪我とか、傷とか、そういう話になったりすることもあるけど、本当に無理なので完全に五感をシャットアウトしてしまう。う〜！！！！ってめっちゃ脳内で叫ぶ。

ちょっと段々酷くはなってるんだよね。こういうのって思い込みの一種で、訓練すれば平気になっていくんだろうか。理科の授業の時、ヘモグロビンの話さえ無理でこっそり耳を塞いでたことを思い出す。

垢があかないので飲酒を始めた。

氷結好き。飲み口ひろくて。ていうか明日新年会なんよね。この年にしてすでに、ひとりで飲むお酒が好き。

鳥の動画見てる。一日ごとの成長を閲覧できてすごい。いつの間にか巣からこぼれそうになっている雛たち。私来世は鳥志望なんだよね。なれたらいいよね。

帰りのバスでノクチルのこと考えてたら涙出てきて、恋！！ になった。

バス、激混みだったけどこっちも限界なので iPad で原稿修正してた。無敵になりすぎることで失うものってなんだろう。ヘッドホンのおかげで耳があったかい。

週が明けたら採血しなきゃいけない。いやすぎる……。採血ってめっちゃ嫌でも結構逃げられないですよ。

Twitterの垢変えて断髪に似てる。

好きな子が歌ってた曲でプレイリスト作って永遠に聴いてたんだけど、いい加減聴き飽きてもきたんだけど、やめられない。  
おしまい。

230107

日記を書いてると日記を書けない時期についても記録できていいな。とんでもなく忙しいよ〜。抜けがないのを目標にがんばるが…。

藤井風聴きながらるんしとる。あたたかな陽光。原稿、間に合う兆しが…見えてきた…。早く小説かきたいな。早くても再来週にならないとその余裕は生まれないんだけど、なぜ…。

230108

成人式が終わった。昨日は新年会で、明日はライブ。目が回りそうな週末で、ずっと新幹線の中から景色を眺めるみたいな時間を過ごしている。

電車を待っている。これからそここの距離を移動する。眠くてな一んも考えとうない。ほとんどの店が閉まってしまっている。構内のセブンが閉まっていて予定が狂った。

スマホを首から下げるストラップを買った。予想通り便利。もっと早く入手しておけばよかったなあ。

着かないで、といつも思ったりする。通勤中。新幹線。夜行バス。目的地に着いて、ぜんぶの荷物を持ち上げるあの瞬間が好きじゃない。終点がない電車に乗りたい。

私がいなくてもそのひとが生きている時間があるっていうのが不思議。好きだったアイドルは私が別のアイドルにのめり込んでいる間もずっと変わらずアイドルでいてくれていて、そして明日数時間の幸福を私に与えてくれる。その意味をぼんやり考えている。

『花を贈るのは好きじゃない。だって最後は看取ってもらうことになるわけじゃん、結局』詳細は曖昧だけど、そういうことを雑誌で言っていたのをめちゃくちゃ覚えている。綺麗で暴力的な概念だったから。調べてみても見つけられないから、幻みたいな事実になっちゃったけど。

静かになりたいな。深夜にまたテキスト書きに来るかも。しばらくは落ち着く予定だからほっとしてる。

また懲りずに初対面のひととライブ見に行く予定立てて…。Twitter のひとと会えるのたのしくてほんとうにやめられないな。みんな仲良くしてくれてありがとうね。普通に生きてたら絶対人生の交差が起こらないひとと一緒にご飯食べたりとかしてる時が、いちばん人生おもしろいな、って思う。ちなみに最近の人生はたいへん面白いです。

自担からファンサを貰い、人生に雷が落ちる。

占いに行った話したいよ～。恋愛で好奇心を発散させようとするな、趣味にいけ、と忠告されるなど。概ねおもしろい。興味のあることを自分に嘘ついてやろうとしんのは間違いやで、っ  
てはっきり言い切られて気圧されちゃった。しゃっきりしていきたいよね。小説書いて勉強  
がんばります……。あとダイエットもするわ……。髪切るまでに……。

忘れたくないよもうなんもかも。いまならぜんぶ鮮明に墓に持っていけるから今日死にたい。  
うそ、ほんとはあの一瞬以外全部覚えてない、ああ、……。ごめん、ほんと、全然、いちば  
んだいすきになってしまった、さすがに溺れる……。

お祝いお祝い！のピースフルな空気感がたのしくて、今日は終わる瞬間までぜんぜんさみし  
くなくてびっくりした。いつまでもいつまでも変わらず彼らはわたしのアイドルであり続  
けるんだな、すごいよね。20周年もなんかしらでお邪魔出来てるといいなあ。

なにもかもが八方塞がりでうずくまっていた時期に寄り添ってくれたこと、わたしだっていつ  
までも忘れないよ。ありがとうございました。今日のことはまた思い出したときにぽつぽつ  
残しておきたい。



230110

ねむい。だるい。きつい。以上。先程ご起床した。

ずっと JUMP 聴いてる、Funky time の歌詞が良い。散々だった運命だって抱きしめたいや。心配だって後悔だって笑い飛ばすよ。

伊野尾くんと百さんの共通項について考えてる。冷酷な面を期待している節があるんだろうか……。ぱっと見の印象は真逆だけど、割に深く話す機会があれば面白い対談には絶対になる……。表じゃなくてプラベである必要があるけど……。知らんけど……………。

寝るわ。体調わる。この先自担からファンサもらったって事実をかなり抛り所にして生きてくんだろうな。ありがとうな。おやすみなさい。

結局意識失ったのは 5 時手前とかだった気がする。本当にこれから 1 日働くんでしょうか……。

考えてる事はいろいろあるけどメモに残してないせいで片っ端から忘れてる。う～ん。  
ここから退勤後。午後から調子を若干取り戻した。息してるだけなのに義務が増える。疲れたし暗い。

私が触れに行かない限り時計が進まない創作上のアイドル。その一方で流れ落ちている砂時計の砂の山を思うと、それを目の当たりにしてしまうと、唐突に褪せる。あんなに本物だったものたち。

人生の意味もハッピーエンドもここにはないのに、私はまた偶像に偶像を見ていて、もう訳が分からない。生身の人生にかけるには強すぎる重力で夢を願って、残酷の分煌めく対価を余すところなく受け取りながら。

アイドルの哲学って本格的に手出そうと思えば文献とかあったりするんだろうか……。

とんでもない短編を読んだ。一瞬で読み切ってしまったけれど、出会うタイミングが少しでもずれていたらひきずりこまれてもう出てこれなかったかもしれない。そういう妙に運命めいているくせに全部が偶然で成り立ってるこの世界のこと、とっても歪でとっても綺麗だなんて思ってる。宗教にまつわる勉強がしたい。

昼食を食べすぎて気分が悪くなっていた。好きなメニューだったのに反吐みたいにして仕方なかった。生きることから遠ざかるということ。

抛り所が欲しいような、もうなんにも要らないような、変な気分。疲れたのかな、そうでもないんだけど。沈むように眠りたい。

暗い記録になりそう。時間帯と状況が悪い。

人様のおうちで寝ている。自宅以外の場所で眠ると、というかひとと寝ると、極限疲労のとき以外は最初の3時間でしっかり過密睡眠して早期覚醒する癖がついてしまった。4時とか5時とか、いつもそのぐらいには目が覚めている。

今隣で眠っている友人も昨日が成人式だったんですが、聞く話全部が賑やかで華やかで正しくて、きゃ〜……になってしまっていた。うまくリアクション取れてたかな。ごめん……。正しさって人によってまったくものさしの違うただの脆い基準だって、そしてそれを武器に人を縛るのはナンセンスだって頭では理解していても、やっぱり正しく映るっていう点において強すぎるんだよね。正しさを放棄してからまだ1年足らずだから、そう思えば仕方ないよな。地道に解放されていきたいよね。

成人式で会った知り合い全員、自分と同じ5年分の時を経てここにいるっていうのがうまく飲み込めず、終始変な気分だった。15歳の自分がタイムスリップさせられて5年後の世界にいきなり連れてこられたみたいなの、そんな感覚だったのかも。たまに頭がぼー……として、輪から離れて点々と周りを歩いたりしてしまっていた。当時もそんな子供だったので。別に悲観したりとか、僻んだりしてるわけではなく、ただ、動揺はしていた気がする。過去にある程度の執着はしている。特に中学なんて人生のトラウマが詰まっている時期だったもんね。パンドラの匣みたいなのだったのかも。底に希望があるのかは知らないが。

成人式に真っ当な感慨を抱いている友人の話を上手く聞けなかったの、申し訳なさすぎる。ちょっと疲れてたのもあるんよね。仕方ないけどさ。

あまりにも自分からかけ離れた位置にある正しさに触れると蒸発しそうになってしまうなあ。でも、こんな気分を他人に味わわせたくないからって、人様のいろんな話に安易な理解を示してしまうのもやっぱり不誠実だと感じてしまうから、また身動きが取れなくなってしまう…。

それがただのエゴでも、いつだって自分は優しさとか安心の立ち位置にいたい。他人にとっても、自分にとっても、そういう存在でありたいっていうのは、なんにもない私にも唯一ある心意気では、ある……。

いろんな傷がこれ以上化膿せずに綺麗な跡になってくれることを祈っている。朝陽くらいは誰の目にもひとしく昇る世界であってほしいよ。

山間の住宅街はとにかく空気が澄んでいて驚いてしまった。いろんな景色があるんだな、とありきたりなことを思ってしまう。正しい美しさ、の中で。

230112

小説書いてた！義務終わってえらい。

ちょっとかきものしてるときは日記休みたいや 許してね。

やっと金曜まで漕ぎつける。忙しいようなそうでないような。本も読みたい。酒を煽っている。ああ……。

一日書かなかっただけなのに一週間サボったみたいな感覚があるね。普通に忙しくて心が死んでただけだったんだなってわかったのでよし。一ヶ月続けたら習慣化成功とかいうの、あれ全然嘘だなんていつも思う。

でもそういう筋があるから戻ってこれたのかな。あと三日？で一ヶ月続いたことになるらしい。

好きなアイドルの CD を聴いてるんだけどめちゃくちゃ好き曲揃いでにっこりしちゃった。ちゃんと追いかけてたらよかったなあ。円盤周りはちゃんと囲っていこう。課金は得意なので。

子供の時に満たせなかった欲望は大人になってから倍返しで復讐してくる羽目になるって学んだから、生かすことはないと思うけれど、忘れないようにやっていこう。この摂理の最大の罠は「忘れてしまう」ってことだと思う。

断捨離が進んでいる。棚にぼこぼこ空きが生まれている。土曜だったのに雨だったね。洗濯ができなくて困っちゃう。でも暖かくてよかった。ダイソーでラックを買って、壁に吊り下げている。これはかなりいいね……。

重ための小説を読んで、多分引きずられて気分が沈んだんだと思う。本読むの早い方じゃないけど一週間かけずに読み切っちゃったから、もう相当五感に馴染んでるんだなって思う。自分の中にある穴にハマればハマるほど、飲むみたいに読んでしまう。あの感じはたまらない。味わいたくて読んでるんだと思う。

ぐるぐるが全然言語化できなくてもどかしい。こういう日もある……。

結構皮被って生きていると、自分にとっての皮の部分がその人の本当の部分、みたいな人に出会うこともそりゃあ、あるわけじゃないですか。根っから明るかったり、根っから真っ当だったり、捻くれてなかったり、純粹だったり。そういう……いわばモデルケースのような人を目の当たりにしてしまった時、我々偽物はどうしたらいいんでしょうね……という気持ちになったり、そういうことを考えたりする。

暴かれるより気味が悪い感じがする。いや自業自得すぎるんですけどね。でもまあ、正直に生きていくとほら、いろいろ上手くいかないから、こういうやり方も仕方ないんだよ、ってほら、全部が言い訳臭くなるじゃん。そういうこと……。

小説、そこそこ書いてる。自由に書いてる。チョコとかグミとかいっぱい食べてる。虚しいけど手を動かしてる。明日はちゃんと洗濯するぞ。初めましての人と電話するので緊張している。

ゆったりと正常に戻りつつある。月に一度くらいのスパンで気が狂うけど、この波もだんだん小さくなりつつある。これからのことを考える余裕が出てきた。たくさんの項目が並んだToDo リストが隣に佇んでいる。原稿、一生終わらない気がしてるけど今週で終わるらしい。ちゃんと手放せるかなあ。

お金を出して買ったヘッドフォンがかなりとんでもない。苦手な地下鉄乗車に二度ほど付き合ってもらったんだけど、本当に無。静寂。

地下鉄、いかなるノイキャンイヤホンをもってしても満足いく防御には至らなかったんだけど、初めての合格点。妹に話しかけようとして外したらあまりの轟音に肩が跳ねてしまった。普通に地下鉄がうるさすぎるだけなんだよな……。早く窓閉めてほしいね。暗くて単調でうるさくて、本当に苦手だ……。

貯金のコツを眺めていたら、「目標額を決める」と書いてあった。目標額か。やりたいこととか欲しいもの……。そういうのは発生したら都度手に入れているので本当にその地点がモチベーションになりづらい。天引き貯金の紹介ページで、「数ヶ月後にはウン万貯まってると思うとテンションも上がりますね！」という締め方をされていたけれど、お金のこと本当に紙切れとしか思っていないから全く魅力を感じられなかった。目の前に二百万積まれても今欲しいもの全然ないからあんまり興奮しないかも。

恵まれてるってことなんだな。生活に困ってたらそんな見方はできないでしょうから。

昔、誕生日の自分に手紙書くやつやってたんだよね。パソコンにパス付きのフォルダ作って、ワードファイルで。タイムカプセルみたいな。数年前の自分の文章って本当におもしろくて、なかなかイカした企画だった。ていうかその時から私って私の字が好きだったんだな。

確か二十歳くらいの自分に宛てて書いたものもあったはずだけど、パス忘れて開かずの箱になっちゃったんよね。

あれをもう一回やろうと思って。今年から。25歳の自分に向けたテキストを今月中に打ちたい。楽しみかも。

なかなか断酒できずにいる。週末に酒屋に行って目ぼしい酒を買い漁るやつをやってしまった。一週間は困らない量だ……。

気が狂ってる状況の本当に嫌なところって狂ってるのが自分だけってところ。世界は普通に回ってるってところ。心底狂ってんな、って思う。あらゆる手で虚しさや狂気を誤魔化しながら生きていくぞ。

嘘だよ。無意味な決意をしながら、本当はちゃんと直視してたいな。

小説とかインターネットとか妄想とかしなくても、外眺めてるだけでおもしろい時期。現実に興味津々。

仕事が忙しい。そこそこ真面目にやれるようになったから。集中力ってどうやって身につけるんだろう。脳内パレードの度が過ぎて、気付いたら空白タイムが生まれまくってるあの感じ。だめだめ！目の前の数字だけ見て！間違えないで書き写して！ペン先からインクが滲んでるのを見つめて…って念じてたら書き間違えた。集中しようとしちゃいけないらしい。ん～……。

うっかりすると取った電話がいつの間にか切れてるみたいな事態が起こって、はあ。用件が何一つ記されていないままの白紙のメモ、怖いよね。こうやって書き起こしてみるとちょっと支障が出てるな……。事務職向いてないよってめちゃくちゃ言われる。そうなんですよね～。お互いのためにはよ辞めるべきなんですよ～。

失恋した友人の話を聴いていた。突っ込んだ話をするのっていつも終わったあとだ。スタンスが真逆すぎて恋愛の話をしても互いに理解に至らないんやけど、そうなんやなあ……って毎度の如く今回も思った。失った恋の話をする友人はいつも同じ声の色で喋る。"ああこれ、前も聞いたなあ、この声で"の現象。

回避癖が酷くて好ましい人間と交際する人間がイコールで繋がらない。執着を覚えた時点で入手を到達地に設定できなくなる。そういう意味で多分、失恋、したことないかもなあ。

うしなう、について考えることが多い1月だ。しがみつきたい、っていう欲求ってどうやって取り戻すんだろう。誤魔化しているうちに欲ごと本当に忘れてしまうよりは、手に負えないぐらいの方がマシなんだろうか。ほどほどな幸福が欲しい。

日照時間が一日ごとに延びているのを実感する。年々季節の折り返しが早まっていて、暴力的な寒さに晒される期間は極端に短くなったように感じる。冬が大好きな感情を保ったまま冬が終わっていく。もう行っちゃうんだなあ、って。季節は毎回うんざりして手を離すくらいがちょうどいいのにね。だって次に味わえるのは1年後なのに。

鏡月にカルピス混ぜて美味しすぎる液体の作成に成功した。こんな量どうしようになったのに。神秘の液体すぎる…。

小説書きたかったのに飲酒しちゃったな。覚めるのを待つ。開き直って好奇心をテキストで晴らすことにしているので最悪な話ばかり思いついて面白い。果てをぐいぐい掘り進めていきたい気持ち。



230117

ジムに行ってきた。音を遮断して走ると自分までランニングマシンの一部になったみたいになる。実感がないまま疲労を手に入れた。ぽうっとしている。

精神状態が悪くなってくると道端の人間になんの前触れもなく腹を刺される想像（妄想？）がぼんぼこ生まれるようになる。歩いているとき、すれ違った人間に刺される自分を無数に生産しながら通勤路を進む。

本当に悪化してくると殺す役も殺される役も自分になってタイミングを問わずに脳裏に張り付くようになる。でも大丈夫！こんな人間でも社会の歯車になれます。

朝、弁当を作ろうとしたら母がうれしそうに冷蔵庫を開けて「みて」と言うので覗くと、ちいさな苺のフルーツサンドがずらりと並んでいた。「うまくってん」「すごいなあ」「苺も安かってん」「どうやって作ったん？」

まっすぐでやわらかな自慢だった。なんだかんだ、他人になれるようになった。ようやく？そう、ようやく。

母は正の軸も悪の軸もぶれが少なく、底の部分で停滞することがない。後半の性質は私も受け継いでいる。ただ、恐らく根本的に気質が違う。

私の陰気な部分を取り払えば母になるのだろうか、もはやそれは私の特性の 9 割を損なっているに等しい。つまり私と母は真逆ってこと。どんな人間の血も半分に薄めて他人と混ぜたら真逆の人間が生まれる可能性があると思うと、おお、と思う。もし自分から太陽みたいな娘が生まれたら、毎日面食らってしまって子育てどころではなくなってしまうな。

車のドアから漂う芳香剤の香りが濃厚。潜水のような朝。

帰り道、商店街のフレンドリーな安いお店で、ジム用のシューズを買った。S サイズあるよ〜、とおじさんが話しかけてくれ、椅子を用意される。腰掛けて履いていると、それ私も買ってん昨日、とお姉さんがうれしそうに呟く。お会計を済ませてお礼を言うと、おそろいやねえってにっこり微笑まれた。恋？

職場、サイボーグ気質ゆえに出勤時間の 8 割は聴覚を丸々苦労話で染められるので、なんか、こういう素朴なやり取りで簡単にめちゃくちゃになる。

あ、疲れてるかも。そうかも。

この前みた白猫をまた見た。立派な脚をもつ猫だった。

固執のシーズン。同じ曲をずっと聴き続けるターン。

最高のネタで話書いてる時って気持ちよすぎて麻薬でまくるからまともな日本語が組めなくてよくないな。って思った。あと、性癖を詰めると読者を失う。これも真理。まあでも、めちゃくちゃで最高に楽しかったなあ……。

原稿なんとか早上がりして飲酒したい。むくみが最高潮なので禁酒したい。

今日で日記はじめて1ヶ月らしい。感慨とか残しとこって思ってたけど特にないな。これまで何事も1週間続いたことなかったんです。本当なんです。お風呂睡眠歯磨き以来の快挙かも。そうかも～！

230118

先延ばしにしてた原稿を終わらせた。とりあえずモノは出揃ったのであとは体裁を整えるフェーズ。を目前にしてダウン。憂鬱の絶頂。午前中、脳の7割の部分にストライキを起こされてしまい、シュレッダー作業しか出来ない状態になってしまった。どうして。

ひとり暮らししか目標がなくなった。これまでの経験から見て、この状態になると実行まで光速で動くことが出来る。今月末には越してるかもしれない。誰か止めてください。

生まれてこの方、なんだかんだ奇跡的に孤独とは縁遠い。そもそも家族が多い。ひとりの生活、が今現在いちばん未知の時空かもしれない。

3週間東京で暮らしてたことがある。柔い土曜の空気の中で aiko を聴きながら洗濯物を畳んだことを覚えている。際限の無い昼寝のことも。

なにかと奇抜な生活を好むのであつという間に人間を卒業してしまうかもしれない。それっぽいやつを味わってみたいのでもやしばかり食べてやる…！ておもてる。痩せたいだけ。でも、ああ、寝坊しても起こしてくれる人がいないんだなあ。やっていけるかなあ……。

孤独を糧に創作意欲が湧くか否かってとこですね。この度の人生実験テーマは。

ちなみに今は食欲を始めとするすべての意欲が死んでいる。健康睡眠運動の義務は果たしたので私は無罪だぞ。

飲酒はした。早く寝る。おやすみなさい。

230119

急激に気分が上がり、急激に気分が下がり、疲弊。

ひとり暮らしするって意気込んでたけど鍵の管理できないの思い出しちゃった。

このメモ見て。怖すぎ。今めっちゃ頭痛いし。

全部の事態が好転してる　ありえん気分変調　たのしい  
な♡

昨日からトライしてた Kindle 端末と iPhone のデザリングがうまくいった。延滞せずに TSUTAYA 返せた。先月から引き延ばし続けた送り状を貰って帰れた。メルカリも発送した。なんだ 100 点じゃん……。

Twitter やめた。先月も全くおなじ行動取ってて、記録の醍醐味…♡ っておもった。

内見は母についてきてもらうことになった。

コシのある夢小説もっと増えろよ！！

アイドルが脱退するニュースを目にした。好きなアイドルに対して、もし本当に辞めたくなったら、いつでもいくらでも辞めてほしい、と思う。それがファンに言える唯一のことなんじゃないかと思う。当事者になったことがないからそんなこと言っているわけがないが。最後は私らの見てたもんは全部夢だったってことで終わらせちゃっていいんだよ。良い夢だったね、で本当にいいんだよ……。そう思わない？ どうなんだろうね……。

230120

この頃は夜みたいな朝が出勤時間とかぶることもなく、そこ由来の憂鬱はかなり薄れてきたように思う。自覚はないけど、知覚過敏の時期かも。脳内でただ言語が流れてる。いつの間にか寝て、いつの間にか起きてた。ぼうっとして家を出た。朝に書くほうがいいのかも。こういう気分で過ごしていると、一日が終わったあとは疲れきっていて書くところではない。

ジャージの父親と制服を着た息子で二人乗りしてる自転車を見かけた。

ここで文章途切れてた。人と話して、湯船の中。お風呂の中で書くくせがついてしまった。とりあえずの金曜。飲酒済。原稿終わらせたいね。もくり籠るか……。でも身辺整理もしたいな……。

ただだと字にぶら下がってる感じ。縋り付くしかない。私にとっての、たぶん宗教みたいな位置に、この行為はある。

動物の動画しか流れてこない Instagram。

疲労。なる早で寝る。

そんなつもりはなかったんだけど人と話したり酒を飲んだりしていたら書き忘れてしまった。あと今日のことナチュラルに土曜だと思ってたからちょっとへこんだ。おはようございます。ご飯を食べて家を出て猫カフェに行く。

ひとり暮らしをすることになった。来月中旬からは違う部屋でこのテキストを打つことになる……。スケールの大きい変化に対する実感が全くないね。やってみないとわからないっていうのはこのこと。私にとったら百八十度の変化なので、逆に現実味がなくて、ふーん……でおもてる。まあ、とりあえずはこれに乗じてものを捨てまくりたい。

なんとか入稿までこぎつけてほっとしている。よかったあ。

性格診断をしていた。人に興味ないって五回ぐらい書かれてなかったですか？ ウケたな。あと共感性もないらしい。そうなんだ。そうなんですか？

人の気持ちがわからん人間が書いてるテキストって人に響かんよね？ どうなん？ みんな何書いてんだって思いながら私のさまざまなテキストを読んでるってこと？ それってちょっとかなりえげつなくないか……。言っても……。言えないか……。

確かにストレートで社会に出たのも“人の皮をいち早く身につけるため”っていう謎&不純な理由ではあるけど、どうなんだろう。人の目って結局気にしてるようで全然気に留められていない、っていうか。そんな感じ。できてない。

私も私のことが理解不能だから、性格診断とか病的にやってた。高校生とか、そんぐらいの頃。今はそこまでしがみつかなくなったけど。あとは、他人が自分に与えるコメントが尋常じゃなく気になる。みんなそうかもしれないけど。私の思考が他人からどう見えているか教えてやると私は簡単に喜びます。

自分に対する興味関心はちょっと異常な自覚がある。だってこの世で一番面白いのって自分では？ みんなにとっても各々の自己が一番面白いもんなんじゃないの？ だって全部わかるのって自分しかいないわけじゃん。例えば移動中にぼうっと考えてるあれこれ、こっそり脈拍が乱れるタイミング、細やかながらに絶対的な嗜好の変化。そういうのって、伝えようと思って表現しない限りは絶対自分にしかわかんないわけじゃん。なんか……めっちゃくちゃ……面白くない……？ この気持ちの言語化はちょっと難しいけど。

まあいいや。

先週はずっと憂鬱だった気がする。なんでだろ。覚えてない。まだ土曜日から抜けきれていない気分。祝日が欲しい。休みたいっていうのもそうだけど、なんか、祝いたい気分なんだ

よね。

寝不足だから気分がふわふわしてる。いろんなことがまったりとどうでもいい。小説とか書きたいな。はらはらしたい。

昨日、遅刻した友人を駅で待っている時に、頬も顎も鼻の頭もまっかっかのこどもを見かけた。こども、無垢の純度が高すぎていつもおののいてしまう。おっかなびっくり接している。こどもはいつでもどこでもいつまでもこども。私もそうだったはずなのに。

私を構ってくれてた 2 匹目の猫ちゃんがなかなかかわいいやつで、胴あたりをさわさわ撫でてたらくうくう眠りに落ちるのに、すこしポイントをずらすと途端に跳ねて牙を剥いてくるタイプのいきものだった。でも放っておくとまた眠る。左の親指にはまだちいさな赤い跡が残っている。眺めてるとあの猫のことを思い出す。そういうことに意味を見いだしているのが人間側だけであるあたり、猫と人間の関係性は基本的に失恋ベースだなと感じる。なんでも恋で測るなよ。ちょっと個人的にいまは磁場が狂ってており……。ごめん……。

なににどのくらい期待してるのかなんて、裏切られてみないとわからない。そういう真理を実感した一晩だった。すっかりけろっとしています。なぜなら心に蓋をしたから。仕事が忙しくて助かった。しかし、意識を深く潜らせる必要が生じる物事に関して、今は考えることができない。思考停止で生き延びている。悔しい。隅の隅まで味わって、いつかかならず絶対に創作原石にしてやるからな。

職場からバス停までの道にひとつポストがあって、その真上にぼつんと置き去りにされた赤ちゃん用の靴がいる。片方しかいないそれは、もう 2、3 日の間ずっと居座っている。落とし主が現れることはおそらくもうないだろう。

昨日乗った地下鉄にも、端の席に片側の手袋が忘れられていた。その手袋が占拠しているせいで誰もその椅子に座ろうとしないので一層目立っていた。

その靴が赤ちゃんの足から転がり落ちた瞬間。その手袋が置いてけぼりになったまま電車のドアが閉まった瞬間。の、ことを考える。

結構ものに愛着を抱いて接する方だ。その割にはものをなくしてしまうことも多いのだが。去年なくしたミトン型のもこもこ手袋や、柔らかいピンクのマフラーに思いを馳せた。どっちもお気に入りだった。

冬は寒い。地面に置き去りにされているよりは、拾った誰かに親切にしてもらえてるといいなあと、落とし主本人でありながらもそんなことを思ってしまうこともある。

今日、貼るカイロを試しに使用してみたけど、あの強制暖房装置感が苦手。化学反応オンオフスイッチ欲しいな。快より不快が僅かに勝つ。家に帰ったら即剥がしてしまった。

私のテキストに一時的にでもいいから金銭を落としてくれる人間がいてほしい……。書きた



いものを生み終えたら返金処理はもちろんする。

好奇心由来の真似事ではあるが、そういった方法で小説を生むことは可能なのか確かめたい。日記を書いてるおかげで自分のために作り話を書く必要性が著しく下がっている。そもそも小説って私からしたらただの投資だから、書いてる"現在"にはあまり得をもたらさない（と思ってしまう節があるんよね）。時間も食うし、頭も使うし、モチベもないし。私のテキストが私レベルで大好きな人間、都合よく生まれないかな〜。手っ取り早くクローン作成するべきすぎる。

230124

寒すぎる。退勤時、雪がひゅうひゅう散っていた。

ああ、あんまり覚えてないかも。さっきまでこたつの中で眠っていた。割と限界だったらしい。そういえば寝不足だったかもしれない。

昼前ぐらいにブーイングみたいな頭痛に襲われて、じゃあちゃんと夜になったらすぐ眠気発生させえよ、と抗議したい気持ちでいっぱいだった。身体ともちゃんと仲良くしたいね。

わざわざこんがらがったコードを探して見つけてきてはそれをひたすらほどくことに執心する癖。

ふんわり焼き上げられたバウムクーヘンの、それでも絶対にお店に出られない両端のふた切れみたいな、無駄を削ぎ落とした言葉じゃ絶対に表現できない何もかもが大好き。

いろんなことが通り過ぎていった後の残骸にまみれている。高速の電車が通過した後のあの強風みたいな感じ。肩が痛くて、内蔵が重くて、どっと疲れてしまっている。

人の重みを勝手に背負って共倒れしてしまう現象、やめたい。人の悲しみも苛立ちも本当にわかることなんてできるわけがないのに、こっちの勝手な想像で推し測ってあてられてしまうの、無意味すぎる。文字に書き起こすと馬鹿の所業すぎるのが際立つな。

なんかネガティブだな。眠い。

悲しくてたまらない時にものを食べているとほっとする。昨日はモナカアイス、今日はチーズ蒸しパン。あまいものをもぐもぐしているときにしか出ないホルモン。

ひとは食べなきゃ生きていけないし、ひとりで生きていくこともできない。あったかくしてゆっくり眠ろうね。幸福な夢に抱かれていたい。働くに向かない状態だなあ、と思う。誰の感情にも冒されずに、静かにずっと目を閉じていたい。

“源”みたいな創作物を取り入れたいな。しゃきしゃきの生野菜とか、瑞々しい果汁が溢れる

果物とか、鉄板で焼いただけのシンプルなステーキとか、釣りたての魚をさばいた刺身とか。  
そういうの。無添加無農薬の感情を浴びたい。

自分のことで手一杯で他人の物語に心を割けなくなっている、のかも。冬を越すまで布団から出たくない。

230125

病院の予約をキャンセルした。億劫ウィーク。引越しまであと週末が2回しかないことに今日気付く。いけんのかな。知らん。値引き交渉だけは立派に果たした。

冬眠モードから覚めないの、寒さのせいかな。

昨日の16時頃、とてもふかふかの陽光が差しているのを目にした。小学生の頃、べったりと仲良くしていた女の子の友達と、体育館のドアの前でひなたぼっこをしていたのを不意に思い出す。交わした会話こそなにも覚えていないが、ひかえめな陽光の匂いは今でもこうしてふと蘇るくらいには覚えている。

色々あってそのひととはもう絶縁している。境界線が滲むくらいに一緒にいたのに、もう記憶を共有できる相手も機会も、なんにもない。

ていうか、問診票まで打ったのに結局取りやめたのかよ。

ああ～。心が完全に壊死してて、取り戻すためにじたばたしたくなるけど、このじたばたは後の私の黒歴史になることが既にわかっているので大人しくねむるべき。

去る人間に対する優しさを家族から向けられている。以前にも経験がある。私も去る場所に対する笑顔を浮かべている。

明日マイナンバーカードを取りに行かせてもらえることになっている。

なんにも思ったり考えたりすることができなくなっちゃってんな。早く生き返りたい。寝るわ。おやすみ～！

230126

久々に腹にくる無くし物をしている。ここ最近なんとか人に迷惑をかけずギリギリでかいくぐっていたところを見事に仕留められてしまった感じ。ああ……。引っ越し伸びたら洒落にならんなあ……。

貰い物のわらび餅を食べるよ。

久々に小説を書いた。ただのログみたいな感じでその日に書いたものを取りあえず放り投げる物置みたいな場所が欲しくなっている。多分そのうちどこかに置き始めると思う。

指にそこそこの痛い痛いが発生していて、痛い痛い。傷は大小関係なく絆創膏で覆ってしまう。見える状態にあるのが耐えられない。

マイナンバーカードを取りに行った。人間の生活システムがぎゅぎゅっと濃縮されて詰まっている場所こと、役所。人の営み……って思った。狩猟とか農耕とかで暮らしてたのにね、私たち。

ここで途切れてた。人と電話をしてました。おしまい。

230128

寝てて、起きた。ここがどこなのか一瞬わからなくなる。最近はずっとそう。そもそもろくに眠っていなかったんだけど。

暴食も飲酒もそろそろいい加減にしたい。

やさしい経理担当者のおかげで無くし物の件は解決した。見知らぬ人間に無条件で優しくされると、あっという間に自分の凝り固まった心が柔和になっていくのを味わえる。悪意を知らない人間の気持ちを、一瞬だけ理解できたような気分になる。でも私はすべてを知るために生まれてきたのでどんな感情もじゃぶじゃぶに浴びて強く優しく生きていきたいんですけどね。

優しくて親切な人っていいなあ。そういうふう生きていくことで思わぬ誰かを傷つけてしまうこともあるんだろうけど、結局そういった事象も理解さえすれば心を痛められる人だろうから。浅はかだろうがなんだろうが、やっぱりやさしい方がいいよ。優しくなりたい。安全でいたい。

不意の傷つきで炎症を起こしていたので、そんなふうになんか思えてよかった。

夜中まで電話をしていたせいで、金曜の朝は盛大に寝坊してしまった。もう起こしてくれる人もいなくなるっていうのに、不安がすぎる。かつてない速度で家を出た。職場の最寄り駅から出るとみんなが傘を差していて、手袋をはめた手で前髪をかばいながら道を歩いた。

電話をしていた友人に近況を話すと、それは疲れてるんよ、と断言してくれたから、とても肩の荷が下りた。原因が見つからないことに悩んでエネルギーを消費していたらしい。ひとりってよくない、と痛感する。

雨上がりの退勤後は本当の冬の匂いがして、心が躍った。山間の町に泊まった時にも抱いた感情だ。こんな空気ばかり吸っていたい。

小説を毎日書くことにしたけど、結局二日ぐらいサボっちゃったな。週末は使い物にならなくてだめ。

無謀な製本もしてる。最近は無謀しかしてないっていうのに、それでも泣きたくなるぐらい全部が停滞してる。はやく誰か助けに来てほしいような気がする。この期に及んで孤独に耐えられなくなってしまうなんて盛大な笑い話になるんだろうけど、でも、全部笑い話であってほしいよ、こんなん。

日記、どんな状態の時でも手軽に書ける文字なのでしばらくはこれに頼ろうと思う。いかにせん書かなきゃ読めない。頭がいっぱいでなんにも入らなくていい加減飽き飽きしている。自覚も悪気もなかったが心をうっかり殺してしまっていたらしい。誠意を込めて蘇生に励む。でももう既にかなり手遅れで、どうしたら元に戻れるのかもあんまりわからない。色々試してみたい。いい機会なので記録をつけながら、いつかどうにかなればいい。

体を最優先しすぎると心が拗ねる。健康なんて宗教みたいなもので、心の底から好きになって信じることが出来なきゃ効果なんてない。睡眠時間の厳守や栄養素の調整、自律神経の管理よりも、深夜のカップラーメンと運命のアニメが潰れかけたひとりの人間を救うことは容易に起こる。

心配しなくたって人はいつか死ぬので、なるべく好きなようにしたい。今日は眠いので寝る。シルバニアのマステのキャンペーンがあしたからなので、本気を出していきたい。

書き出しのアウトプット、まったくメンタル回復の役に立たないってわかってるのにやめられない。ネヴァは早く読みたいし、スト履修したいソシャゲも山積みだし、未読の漫画がごろごろできて大変なのでGWは忙しい。そうこうしてるうちに全部どうにかなってほしい。

落ち着かないのでテキストを打つことにする。月曜日のご出勤、免除してほしいよね。あと1日だけでいいから休ませて。

猫カフェ行ってきた～！ 写真も動画も載せると思うけど、愛が具現化された存在に直に触れてるあの実感、すごいなあ。かわいいがすぎる。気持ちがとろとろになってしまいました。アルコール入ってるので描写薄いけど、本当に…かわいいね…。

主ににひきの猫に構っていただいていたんですが、なんかにひきとも"鎮"要素がつよい猫ちゃん、微動だにしないどっしりとした貫禄で私の膝の上に佇み、眠ったりごろごろしたりしていた。キュート。

分厚い種族の壁も感じるなどした。人に猫はわからんし、猫に人はわからんね。また後日改めてお話しに来る。

ちょっとどう処理していいかわからんからありのままなんだけど、好きな女から今日この後彼氏と別れ話をしてくるとの告白を受け、その後の記憶があんまりない。トリキで1時間半ぐらいふたりで飲んでたんやけどね。普通にタガの外れたアイドリッシュセブンの害悪トークをしていた。

そろそろ店を出ようと上着を羽織る段になっても、行きたくない！！と駄々を捏ねるので、行かんくていい！！電話で済ましい！！と口走って、そういう……ああ、覚えてない、思い出したくない。

マジなの、マジでなんも気付いてないの、そうやろうねえそりゃそうよねえっていう気持ちと、これもし万が一でもわかっててやってるんやったら完全に怨みになってしまう、っていう気持ち、半々。うそ、全然許すって約束するからわかっててやっててくれ……、救われないので……。

終わってから連絡くれたら話聞くよ～ていう不毛な誘いをしてしまったので大人しくマクドで時間を潰している。しょうもない。過去は美化の過程を経たらどんな事象もたしかにうつくくなるけど、こういう現在進行形のびっぴちに鮮度の高い出来事がもたらす無様な感情はなかなか耐え難いものがある。

携帯の充電もイヤホンの充電も切れ気味で、わたしもそろそろ本当に泣いちゃいそうやねえ。

現実の大きな変容にもたれかかっていないともたない。住処が変わる。盛大な断髪もする。勘弁してくれと思いながら、心にしまっておくことすらできずこうして文字に起こしてるあたり、大変キショイ。

こういうときの潔さってどうやって行動で表現したらいい？ 告白以外で。ずるずるするのって性にあわなくて普通に毎日の居心地が悪い。



はあ～～～。もうだめかと思ったけど義務を無事片付けることができた。なんの心残りもなく終わっていく週末のありがたさ。

不穏な電力会社と安易な契約をしてしまった。ひと月で解約する手筈を踏みたい。けどだめかもしれない、おもしろい。事故物件オチの方が私にはウケるからそっちの方がよかったなあ。

今日何があったかすっかり忘れてしまったな。

買い物に出掛けて陽気な気分になってきた。自分で使うすべてのものを自分好みにしているという圧倒的で最強の事実にとんでもなくテンションが上がった。でも実際は小心者なのでトイレのマットとかカバーとか買ってこっそり微笑んだりしてただけ。コンディショナーのストック、あったのにまた買ってしまってショックだった。髪切るからもうそんなに使わないのに。

小説が書けないのせいでいよいよ気が重くなってきたので、荒療治に走るなどした。無理くり書いたりしてるんだけど、これは本当によくない。日記に適用されるシステムは小説のスランプには効かないらしくて、振り出しに戻る。

なんか、特に何もない、本当に。

本当は心が死んだりしてるのが気がかり。人の字も今は読めないし、同じ曲しか聞けない。Twitterも嫌だし、早く引っ越しを終えて引きこもりたい。

死んだ心をほったらかしにしながらぎりぎり平常に戻ろうとしてる。それ以外に生き延びる方法を知らない。こういう時こそ外に出て、無理矢理でも換気して、世界は広くて狭いことをとっとと思い出すべきなんだけど、……そうだね、そうする。

友人からもらった大量のお菓子を計画も際限もなく口に運んでいたら肌荒れがすごいことになったので妹に譲渡した。一瞬で大喜びムードになり一瞬でなくなったので、良かった。飲酒と少しのご飯で私のカロリーはまかなえることを肝に銘して、しばらく徒歩を増やそうと思う。

楽しいことが大好きで、それ以外は全然いらない。それじゃだめかあ。だめなんかあ。

購入したあんずのお酒が美味しくて嬉しい。

大事なものを忘れている気がして、あと、郷里に帰りたくて、しばらくネヴァにお世話になるかあ、ってぼんやり考えた。忙しいからしっかり向き合えるかはわからないけど、元気になるたくて……。賢太郎にも清史郎にも会いたいな。しばらくは地獄で踊ってる私が見られると思う。多分。たのしみ。

もう二月かあ。最近寒いよね……。いつでも笑顔で生きていきたいよね……。

まだ美化するには時間が足りない気もするけど、生傷ぐらいがちょうどいい。今日は早く眠るつもりだったのにな。

小学生の頃から気持ちがおっきいのは変わんなないままで、それはそれは筋金入りで、そのせいで人生いっぱい痛い目見るし、やりづらいし、開き直って生かし切ることもできない。こういう嘔吐をしてないとすぐに告白しにいく自信がある。こういう場所があったことは幸福だったし不幸だった。ほんととはどっちだろう。

何も壊したくないっていう、ただの善感情もなくはないけど、やっぱりこの平行線の先の景色の方が私には甘美な気がするから。

愚かとか、意味がないとか、陳腐とか、そんなふうに見えるかな、他の人には。明日の自分には。どうでもいいけど。目元が熱い。

具体的に交際したいとか、あれしたいとか、これしたいとか、ほんとにまったくなくて、だから結局あの頃の閃光を忘れられないだけだね、誰も幸せになれない終わりの状態。

その日は十分遅刻してきてさあ、かわいげがありすぎるよね。二時間ぐらい遅れてきてくれてよかったのに。どうでもいい予定の時みたいに。触った手が冷たかったからカイロを渡した。なんか変な感じ！ って言うから、どういう意味？ って聞いたら「インターネットの人に会ってる感じ……？」っていうひっどい返しをされた。いいよいいよそんな感じで、濃度なんてなくていいよって、今は思うなあなんか。

ただの無意味な状態異常って思いたいなあ。こんなことになっちゃったあとで言えることなんてなんにもないけど。

本当は新しい家に持っていくインテリアを見たいなあって思ってた、んだけど、口実としてはあまりに薄すぎて、誤魔化しきれないぐらいにその子からの連絡をじっと待って、何回も携帯ひらいて、そのうち送ったメッセージに既読がついてることに気付いて、うっすら絶望して、電車乗って、通知来たから見てみたら、やっぱりお付き合い続けることにしました～ってきてて。

心臓が止まったのかどうかすら覚えてないな。真っ白。

深夜に電話してて。ていうかあの子から電話してってお願い LINE がくる時、体感九割くらいが恋愛絡みではあるんだけど。この日のちょっと前、別れかけの時期にさ、相談乗って

て。ほら、私、相談役とか本当は全然向いてないから、そういう、出来上がった関係の中で交わす執着の理屈も全然肌身で実感したことなんかないから、正直女の子と恋の話ししても全然わかんないんだけどさ、だから、「失恋してみたいなあ」とかほざくただの害悪役だったんだけど、その子も「今だけ代わりたいわ」「なかなかのエンターテインメントやで」って言ってて、ふたりで笑ってたんやけどね。

ねえ、でも、絶対こっちの方が勝ってるって。惨めさとかはもちろんだけど、でも多分、それ以外も全部。

そもそも外部要因でコントロール不可の状態になるのが珍しい。ひさしぶりな感じがある。電車とかバスで涙が止まらなくなるのも、もうどうしようもない。どれだけ笑顔で仕事とかしてても、深い深い穴の中で置いてけぼりにされた日々や夜を思い出してしまうともうだめで、自分もただの人間として、愛とか恋とかでめちゃくちゃになる性質があったんだ、って驚いてる。素直に。

虚しいから執着してるんかな。ゴールも天井も終わりもない。私がいつまでも区切らない限りはもう永遠。手に入らないものってなんでこんなに綺麗に見えるんだろう。

なんの根拠もなく引っ越ししたり髪を切ったりしたかった。どうやってもあの子が意味になってしまう。

適当に書いてたのにまた長くなった。昇華できない。いつまでも大事に抱えている。一生このままな気がしてる。そうなることを望んでないふりして、多分望んでしまっている。終わり。

転居の手続き。神経質を手放す。生きていけたらなんでもいいや。月曜とは思えないボリューム。今週はいそがしい。忘れる過程を踏むことにする。行き止まりの物語を構ってる暇なんてないから。

文化の解約。算数の解像度が微妙。男の人が相変わらず怖い。

また寝坊して（普段はこんなに頻度高くない、疲れてるってことにしてる、精神衛生上）ヘッドフォンを忘れてしまった。よくよく考えたらイヤホンなしのご出勤は経験したことがなかったので記念すべき1回目として渋々行き帰りをこなした。精神状態があんまり悪くなかった（前の夜大泣きして寝たおかげ）のと、あとは帰りのコースが普段と違う道だったからできた偉業。いつも忘れたら我慢できずに帰りにコンビニで買ってしまうので。でも帰り道が静かすぎて憂鬱になったのでこっそり iPhone から音流して歩いてた。寝坊したない。明日ははよ起きる。余裕が欲しい。

いろいろあったしなんにもなかった。

お手洗いが工事期間に入った駅に驚きを示していた老夫婦も、煙草を恋しがっているサラリーマンも、コンビニのほかほかたべものを片手に駅の階段を上がる高校生も、いっぱいひとがいた。なんにもメモに残さなかったのにさっと思い出せるくらいには新鮮。耳を塞がれてないとどこもかしこも知らない世界みたいで、疲れるけど面白い。

いか明太がだいすきで、買って帰ったけど、夕食が鮭だったなので食べずじまいだった。

明日髪切る。長い髪の手入れは今日でおしまい。さよなら。未練はない。

まともな生活をしようとしてる。瞑想アプリなんかいれちゃって。ポメラもまた欲しいな〜って思ったけどどうせ日記もお風呂でしか打たないし、また無意味になる気がするなあ。肌荒れ、早く治らないかなあ。作り話がしたいなあ。

結婚したがるひとのきもちがちょっとわかるような気がしてる。限りなく中身の薄い恋人が欲しい。明確な契約ももう要らない。痛い目ばかりでも別にいい。約束も誓いもどうせもう信じられない。でも、なにがあっても置いてかないひとがいい。べつに本当にそうしてほしいわけじゃなくって、そう思わせてくれたらそれで十分で、でもそれは裏切らないでってことと同義で。

ほんとはずっと脅かされたくないだけ。そう思うとつまらんなあって思うけど、怖くない他人に憧れる。

明日は早く起きていか明太食べられたらいいなあ。

今回私の一部じゃなくなった髪の毛たちには申し訳ないけど、髪ってめちゃくちゃ邪魔だったんだなあって思った。さよなら。でも、髪の毛のおかげで今わたしはとっても爽快。ありがと。

帰りが遅くなってしまった。いか明太のために帰宅する。

大きな変容や刺激の前には憂鬱がつきまとう。美容室の最寄り駅に着くまでは気だるい気分だった。髪を切ったところで何も変わらないだろカス……って思ってた。ごめんね。生まれるテキストから見てもわかるように、本当にわたしは今、かつてなく機嫌がいい。

決して相性がいいわけじゃない、ござっぱりとした付き合いが続いている美容師の前でもさすがににっこにこになってしまった。染めたての毛先が丸く整っていくにつれて、胸が弾んでいくのを味わった。こんなに無防備に高揚できることって、どこにでもありそうではんとは全然ない。

今朝はまんまるの朝日を目にした。朝もずんずん早くなっていて、少し前までは欠片みたいな朝日をなんとか浴びながら出勤してたのに。見惚れているときにちょうど、『救心』の"結婚しよう"っていうフレーズが流れて、わたしの耳も正確にそれを捉えて、正解の一瞬だ、と思った。一寸のふれもなく、朝からまぶしい。

駅から美容室までの静かな道を歩いてたとき、塾の前を通りすぎるあたりで、同じ方向に向かう中学生の男女がいたので速度を落として抜かしてもらった（すぐ背後で人があるいてるとそわそわする）。歩く速さも同じぐらいだったから、ちょうど会話も聞こえる距離を保ちながら歩いてたんだけど、あの子にもあげたい、あの子にもあげたいなあ、と女の子が色んな友人の名前を出しながら男の子ににこにこ話しかけてた。「チョコをあげるかどうかの線引きって難しくない？」と女の子は続けて尋ねる。男の子の返事は聞こえなかった。

ここにいない他人に渡すチョコの話をしてる場合か、というツッコミさえも至って的是はずれな杞憂に終わってしまうほど、そのふたりは幸福の象徴みたいにふんわりしていた。すぐ後ろを他人が歩いているのに、ふたりはとことんふたりに没頭しながら身体を寄せていた。その歳にして、あんなふたりきりの状態を味わう人間もいるんだなって、でも、いや、あの躊躇いのなさは多分あのくらいの歳の子の方が上手いかなあ。彼らがあまりにも天才的にふたりの世界に閉じこもるので、わたしはわたしの実体をあの時疑った。

うっかり涙が出そうになったところで美容室に着いた。あと10歩で手遅れだった。助かった。

ふさふさと落ちていった髪の毛、その無味乾燥な一瞬に救われる。シロップみたいにあまい柚子茶が美味しかった。

まだ書きたいことあったんだけど、また今度にする。順調に心が回復している。これから上向きの状態がしばらく続くだろうって、なんとなくわかるから、ほっとしている。また来月も浮いたり沈んだり、飽きずに同じことを繰り返す。

1月終わるね。恵方巻き大好きなんだ。気合を入れてはしゃぐぞ。



230201

21 時になると自動的にメモが開く設定にしている。今まで一度も書きたいタイミングと 21 時が重なることはなかったが、今日はたまたまそうなった。ので、ほんと書くこととかもうないけど、まあ、書く……。

大きめの仕事の前日で、気持ちが落ち着かない。早く寝たい。早く終わってほしい。バスでいつも意識を失って寝こけてしまう。そんなに睡眠削ってるつもりはないんだけど、日々のカロリーがなんとなく高い。(あ……) みたいな感じでいつも意識が戻る。死にたいっていうのはあの状態になりたいっていうことを言うんだろうな。

文通とかしたい。絶対返せないけど。いや、逆に返せるのかな？ 文通相手ってどうやって募集するんだろう。したい。

いか明太食べました！ おいしい～。

もしわたしに今恋人がいて、その上もし「ロングの方が似合ってたよ」って一言目で言われたら、ていう悪趣味な妄想をしてしまったんだけど、想像上でもわたしはそいつをぶん殴ってしまった。ひととやっていけないかもしれない。許容の心がない。

地雷って踏んでみないと地雷ってわかんないじゃんね。

ほんとに書くことなかった。おしまい。おやすみ。

質量のある仕事が終わって、にっこりるんるん。

他人のためじゃない文章は意味がない、という意味合いの文章を最近よく見かける。人のことを考えて書けということかな？　そういう示唆かな？

私はおそらく生まれてこの方自分のためにしか文章を書いたことがない方的人类で、今までそういうアドバイスを見かけてもどこ吹く風で数年間テキストにしがみついてこうなったタイプの人間なんだけど、どうなんだろう……。もう少しまいりようがあるんじゃないかなって思う日もたまにあったりも、する。

自分っていう他人のために文章を書いてるっていうか。自分にとっての自分って、唯一頭の先から爪の先までわかりあえる運命共同体って感じ、しないかなあ。そういう言い方をすると、実質自分がふたりいるカウントになってはしまうんだけど、でも、やっぱり、今この文章を書いている私と、明日この文章を読む自分は別人で、でもどうしてそんなことが起こってしまうんだろう……。

私は私の文章がめっぽう好きで、それはこの世で私が出会ってきた好きな文章を混ぜ合わせてとことん体に取り入れて作ったからで。他の誰かのことを考えて書いたことなんて、もしかしたら本当の本当じゃないかもしれない。ていうか、できない。

これはただのないものねだりなのかもしれないけれど、そういう方向に努力できるひとはやっぱりいいなあって思う。これまでは主に二次創作をエンジョイしてたわけだけど、自分のために書いてるとやっぱり母数は1から増幅しないわけで、人のために書くとそこがぐっと広がっていく。のは事実。でも、私がそれをやると虚しくなってしまう。私のために話を書いてくれる人がいなくなっちゃうから。

他人の好きと自分の好きが100%重なればいいけど、そんな奇跡は起こり得ない。

みたいなことを、ぐるぐる考えてた。めちゃくちゃ熱量のある感想やリクエストをもらうたびに腰が引けてた。アカウントも変えちゃうし、残しててってお願いされても結局消しちゃう。

少なくとも他人のためにテキスト打ってるなら、そういうことはしなくて済むわけじゃん。自分の意思が介入してないわけだから。他人の求心がエネルギーになるわけだから。

でもまあ、結果として、自分の文章を読むためなら日記も一ヶ月続けられるような人間ができあがっちゃったわけで。めでたいのかな。かな？

いくらそんなことを言っても、孤独にはめっぽう弱いので、微量の人目はあるんだなあってこともよくわかっている。SNS があって良かった。こういう透明の個室がなかったら、私は文字を書くことを覚えずに一生を終えてただろうね。間違いない。

それでも偽善で生きてきたから、あなたの読みたいものを教えてくださいの気持ちは全然あるし、リクエストも募集しちゃうんだけどね。

書くぞっていう決意がまったく機能しなくて困っていた。脱力を意識して最近はキーボードに向かっている。適当にしか書けないけど、適当になら書ける。それこそ毎日でも。

それにしてもキーボードだと要らんことまで喋っちゃってよくないよねえ。

髪切ったのちやほやされてうれしいになった。「そんなにかわいくなっちゃってどうするの！」って言われちゃって、こんなん一生もらえない言葉じゃん！ になった。はしゃいだな～。まんまるい髪型をしたわたしは誰に褒められなくても間違いなく世界一かわいいが、それとこれとは別で、かわいい！ っていわれるととってもうれしい。みんなありがとう。

かわいい本も届いた。通販の準備する。

禁酒できている。調子がいいので。この一週間、平日は飲まずに済んだので、明日は盛大に祝おうと思う。てか、あした恵方巻きですか？！ うれしい～！！！！ じゃあね。来週の今頃にはもう引っ越しか。ああ……。

恵方巻きを食べて、事務手続きを終えて、飲酒している。正三角形みたいな金曜日。適当なことを言いにくた。今日も。

バスが終点にたどり着いてもしばらくふたりで席を立とうとしない女子高生ふたりがいて、ゆっくり下車する人間のかわいさを味わった。変な意味ではなく、あくまで共感由来。

Twitter の人間と性の話をするのがこの世でいちばんおもしろい娯楽……（酔）

街が春の準備をして泣きそう、になっていたらしい。そんなことで泣く感受性はこの時間帯のわたしにはない。

恵方巻きのために大量の人間がスーパーに押し寄せていて、わたしもそのひとりと化した。恵方巻きは別格なので。流石のわたしも必死にならざるを得ない。おかげでサーモン巻きを得たよ。お腹いっぱい。

毎日小説書こうとしてる。他人から募集したテーマじゃなくて、自分で選んだテーマで。案外原始の部分をおろそかにしがちだなんて思った。割と楽しい。

まともな日本語が喋れなくなっちゃうの嫌。でも、アルコールで筆が進むならじゃんじゃん飲んでただらうな。危ない。

明日忙しいんよね、またあつという間に日曜になっちゃう……。涙。

恋を失ったふりをしてるからこうなるんよ、ておもてる。思い出したら泣くから、思い出しそうになる瞬間で止めてる。器用。死んだみたいに生きてる。反吐吐きそう。

失恋に効くのは時間か新しい情動。行動に移していきたいな。手探りでも。酔うと欲求や憂鬱の本質がよくわかってしまって、救いとは程遠くなる。何度でも。

思い出したくないから色濃くなる。この事象についてならわたしはいくらでも話せてしまいうな。こんなに書けなくて苦しいのに。このひとつだけが生々しくて、あとは全部茶番に見える。

結婚できて良かった、と話す人間の話聞いて、今すぐそこに行きたくなった。全然嘘の感慨。向いてると思う？ わたしはそうは思わない。どうなんでしょう。誰かに縫い止められていたい、ならわかる。なんとか。

灰になったみたい。失恋の経験値がなさすぎる。これからどうしようかなあほんとに。

泣き疲れちゃった。お腹すいたなあ。逃避としてのテキスト。

先行上映、行ってまいりました。ネタバレはしないです。できない。感情だけ残しておく。

なんならいちばん最初の OP から泣いてたな。自分でもなんで？ って思うぐらい。両隣の人間にはご迷惑をおかけしまして。

でも自分では絶対泣かんと思ってたんよ。心が動くかどうかすら危ういなあって。正直、アイドルリッシュセブンへの感情が大晦日のブラホワから一步も進めてなくて、ログインすらも結局数回しかしてないし。もう終わっちゃった地点として徐々に固まって、過去になっていく過程を踏んでるんだなって認識してた。手を離すのは得意だから。

でも、根っこってずっと根っこなんだね。

凍りついてただけの巨大な感情がふたたび解けて、質量も勢いも増した波にびたびたに浸される感じを味わった。ああ、わたしってここから生まれて、これから何年経ってもここが土台で、わたしの全部はここを基にして積み上がっていくんだなあってわかった。愛しい傷も、まばゆい愛も、信じることも祈ることも、わたしはここから教わったし、味わった。

ごめん、具体的な話ができないからなんのこっちゃやね。でもアイドルリッシュセブンを思春期に浴びた人間は全員こうなりますからね。覚えててください。

いろんな記憶が走馬灯みたいにびゅんびゅん過ぎてった。今更言うまでもなくアイドルリッシュセブンはリアルに根ざしたコンテンツなので、追いかけていると世のドルオタと相違ない感情を手に入れることができる。まあ、リアルで追っているアイドルが実際にいる人間なら尚更だろう。

友達に支えてもらいながら固唾を吞んで初めて観た MV や、いろんな広告を観に街へ出向いたこととか、時間や心を割いて一緒に過ごしてきた時間を経て、やっと浴びることが出来た奇跡みたいなライブの景色。もちろんそういった大きい出来事だけじゃなくて、心がささくれたときに支えてくれた歌声や、言葉や、涙。そういったもの全部。これから何回でも思い出す、わたしの大事な景色になりゆくもの。そういうのが劇中の描写と度々重なって、そのたびに律儀に、意思を超えて涙は勝手に落ちていった。

本編もう一回読みたいな。4部の記憶がないままなので取り返しにくぞ。

ああ、心が死んでたんだなって、生き返ってからじゃないとわかんないの本当に困る。この世でもっとも悲しいのは心が死んでしまうことですからね。

こんなに大量の感情に打ちのめされて圧倒されても、また変わらずに明日が来るのがいつも不思議。今日死んだっていいって本気で思っちゃったな。悲観じゃなくて、ただただ何も悔いがない。味わうべきものは全部味わったっていう、満足感からくるタイプの感

情。そう、この感じが多分リヴァライと重なって懐かしくなっちゃったんだと思う。戻りたくても一生戻れないのっていいね。過去ってかわいい。絶対に叶わない恋みたいで。誰かに自分の感情を伝えるのって本当に難しくて、だから物語にしてみたことを思い出す。わたしから生まれる話って、全部元は例え話なのかもしれない。まあ、大体の創作物がそうなのかもしれないけどね。

まだちょっとふわふわしてるけど、この辺で終わっとくね。瞼が重たい。今日の月も綺麗だったよ。

上手く区切りが付きそうなのでブラホワの話もまたしに来るわ。じゃあね。

特に書くことないなあ。二日とも結局予定みっちり、やりたかったことひとつもできなかったし、終わり。平日使ってぼちぼちやってくしかない。転居、本当にできるんでしょうか……。

色々と物騒に直面する一日だったなと思ったし、なんか気分も良くなかった。カーテンとカーペットを決めた。徐々に全部に憂鬱になってきたけど、日曜日のせいだよなこれは、そうそう。

イベント叩いてて思ったんだけど、この何をするでもなく音ゲーの譜面を叩き続ける時間、わたしにとって結構大事だったのかも。

とりあえず早くひとりになりたいかも。途切れるから愛しめるものばかりだ、本当に。

230212

なんとなくずっと忙しい。引っ越しが終わりました。

昨日までただのがらんだような箱だった部屋があっという間に生活空間になってしまった。今のところはこの部屋のことをかなり気に入って生活することができている。ありがたい限りですね……。いつ鍵なくしをやらかしてしまうか気が気じゃない。一刻も早くスペアを作りに行きたい。

無刺激という刺激に対する急性反応が起きており、おそらく一時的にだとは思いますが強烈に淋しくて虚しい。早く慣れて満喫したい。深夜を待たなくてもひとりきりになれる、なんでもし放題の部屋だ。ずっと欲しかったもののひとつ。

外国人と飯を共にする約束をしている。どうなるのかまったくわからない。そもそもちゃんと会話が成立するのかどうか。

早くノーマルの字を描けるようにならなきゃ暇で仕方ないな。ネヴァ読むね。アニナナはちょっと、受け止められるタイミングで自主的に観ます……。アイドルリッシュセブンにめっぽう弱くなってしまった……。

色々あったな。日記とか書けるメンタルじゃなかったけどやっぱり記録しておけば良かったって、この段になるといつも思うな。しばらくはちゃんと書きます。暇なので。

暇って言ってるけど全然やることは無限にある状態なんですよ。

あんまり記録してなかったからもうおしまい。豚キムチってどんな状態でも作れるしどう作っても美味しい天才の食物。後片付けがちょっと面倒くさかった。



いつも通りしっちゃかめっちゃかしてるだけで10時を越す。

買い物に行く度馬鹿みたいな量の日用品を両腕に抱えて帰ってくる。ボウルもザルもない中でのしらたき調理チャレンジ、痺れちゃったな。家事は楽しい。今のところ。新鮮が面倒を押し殺してくれている。そこそこ無心になれる。このエキサイティング状態がいつまでもつのかわくわくしている。

YOASOBIを聴きつつ出勤する日が続いている。なんとなく良い日が続いている。テンポの雰囲気がちょうどいい。

朝のバスで大きなスーツケースを引っ提げてバスに乗っている人を見かけた。岩手に行く気概が高まった。お金を貯めないといけない。どうせなら北海道にもついでに行きたいな。いけるもんなのかな。

てっきり不眠になるかと思ったらめちゃくちゃ眠れるようになって、なんかむしろ眠すぎてカフェインが必要な状態から抜けない。

退勤時に職場のロッカーを開けたら私服から新居の匂いがして、なんとなく家の匂いだと脳が認識して、ほっとするような薄い桃色の気分になった。

住み始めてまだ四日目とかなのに、既に安心の場所という刷り込みがかなりされているらしい。驚き。いつの間にそんなに図太く成長してたんだろう。それともかなりここでの生活が性に合ってるのか。五感が適応する速度はいつも心を見殺ししていく。

でもまだこの場所で生まれる文章はぎこちない。お風呂場で打ってみたけど駄目だった。というかスマホを落としそうなのではやくお風呂の蓋が欲しいな……。

原始的で真っ当な愛に触れるたびに、ああ、抱けない感情だ、となんとなくぐったりしてしまう癖が抜けない。

自分もそれなりに周りの人間に愛されて健やかに育ったはずなのに、どうしてこんな気持ちを知ってるんだろう、とよく思う。虚しくてひん曲がってて卑屈な感情。生きていくのに不必要なもの。そういう薄暗い闇を知っているからこそ眩しく思えるものもあるにはあるけれど、それが眩しいことすら気付かずに生きていく人間にはやっぱり敵わないなあ。日記をさぼってた期間が長くなってしまった。さぼってる最中はそれで良いんだけど、こうやって再開してみると、その期間の記憶がすっぽり抜け落ちてしまっていることに気付く。ちゃんと生きていたのかすら曖昧。それが日記を始めちゃった人の代償だとしたら、かなり理不尽だな……と思うなどした。

おしまい。バナナがなかなかなくならない。キャベツもまだ残ってるし、キムチは使い切れる気がしない。生活で日々が満ち満ちている。気がつけば寝ている。また明日が来る。無印のゴミ箱がうまく組み立てられなくて困っている。

こたつでアイス。鼻の頭が冷たくて、キャラメルは甘くて、時計にぶら下がった猫の振り子が毎秒揺れている。今日は寒い。買い物の時に雪が舞っていた。

朝、オートロックの扉を出たところで、ごろごろと忘れ物をしていることに気付いた。マフラーとヘッドホンまでは良かったけれどスマホも忘れていた。既にこたつの消し忘れとあとなんかの理由で鍵の開け閉め二回分を経ての出発だったので、今から戻れば到着時間が迫っているバスには明らかに間に合わない。でもスマホを置いていけるほどゴーイングマイウェイしているわけではなかったので諦めて帰った。

スマホは鞆の中に最初から入っていた。バス停に着いて一本遅いバスを待っている途中に、職場用の上着を忘れてきたことに気付く。

地面に伸びた朝日の光に、窓枠の形の影がいくつか刻まれていた。綺麗な透明の陽光。そういったものに心を奪われてうっかり泣きそうになるたびに、置いてけぼりにしたままの穴のことを思う。わたしは浸るべき悲しみを投げ捨ててここにいる、と知っている。逃避の果ての生活に意味なんてあるわけがない。でも、意味なんてなくても毎日はこちらをくりぬき過ぎていく。まあ、どうにでもなればいい。

神様になでられたみたいに煌めくさざなみがいた。穏やか。抽象的で絶対的な存在への信仰心を理解する。寄りかかるようにひたむきに信じるものがある、という無邪気でしたたかな芯。

昨日、あまりの美味しさに乗せられ、勢いよく晩ごはんを食べたせいで舌をやけどした。粘膜の損傷は長引くくせに苦痛がクリアで嫌い。口内炎にしる親知らずの炎症にしる。帰り道で天使の梯子を見つめる。「あんなに輝いていた日々にすら埃は積もっていくんだ」。そうだね……。

様々な男性を見かけた。クレープを丸齧りしている男性、着物を着ている男性。日頃普通に働いてるであろうこういうひとたちが街に紛れてるのはいい。

緩やかに体調を崩していた。遠慮なく痛む頭に感慨深くなる。発熱とかそういうちゃんとした理由なしにここまで頭が痛くなるのは初めてかもしれない。

かなり疲労の状態でも人がいると気を遣って体はやたらとおとなしくなる、みたいなメカニズムが実はあったのかもしれないな。わたしに似てて可哀想な神経だ。

水を枕元に置く。静かな音を流す。布団に横たわって丸まる。三十分ほど目を閉じた。迷惑も心配も誰かにかけることなく、ひとりで思う存分寝込める、という形の幸福もある、としみじみ感じた。

睡眠で解決できないことを確かめると、呻きながら身体を起こし、はしゃぎながらポトフを作成。明日は照り焼きトーストがいいな。

引っ越ししてから映像媒体のコンテンツを一度も吸ってない。何して生きてたんだっけ、

ああ、失恋してたな、と想起す。もう遠い過去みたい。あの頃の全部が押し流されて、今は全部が新しい。さようなら。美化されたのちに会いにいくつもりではいる、けど。

お風呂でコンタクトレンズを流してしまい、唐突に片目の視力を失う。

優しい色の間接照明が欲しいな～。日記を書くときは、というか日記に限らず文章を書くときは、全体の照明は落としてスタンドライトだけにするんだけど、今の部屋でこの明かりを灯すとあまりにも煌々としている。白すぎるし明るすぎる。

引越しの流れで際限なくものの搬入を許してたけど、そろそろ必需と贅沢の分別も必要な頃合いになってきていて、明らかにこれは贅沢の部類に入る……。でもおそらく、買っているんだろうね、これは……。

眠い。週末に向けて生活が順調に荒廃している。

バスの中で小説のネタをゆるゆると組んでゆるゆると楽しむなどしていた。書き方を忘れてたくなので月に一度程度はどこかしらで打っていったらいいなあと思っている。思っているだけ。

照り焼きトーストは無事に作れた。75%くらいの理想実現度、味は星4つ。それにしても、ひとりでご飯を作って食べて片付けることって相当虚しい。なかなか満たされないせいで食べすぎてしまっている気もする。みんなどうしてるんだろう。今のところ SNS にもたれかかってなんとかこなしている。

理不尽な腹痛に襲われていると、こんなにも平和主義を貫いている私でさえ世界を恨みたくなくなってしまうんだな。呪いのメモが残ってた。

ポップしないでのメデューサが相当いい曲だ。出勤時に初聴きして踊りそうになった。

「望んで生まれたわけじゃない でも悔しいままでいたくないない」。

先輩からもらったワッフルショコラが美味しい。歯磨きしたのに。でも台無しってなんでこんなに楽しいんだろう。

精神が順調に上を向き始めている。今月も浮いたり沈んだり元気でよろしい。記録をし始めたらメンタルリズムが見えるようになるかなと期待していたところもあったけど、日毎に不規則性が浮き彫りになっていて面白い。好きにしま～と思う。

買い物時、大方買い終えて帰ろうとすると半額タイム直前の弁当屋さんに本当に長蛇の列ができていて、人間の怠慢、可愛すぎる……。になった。

ひとりの時間を過ごすことにも相応のカロリーは使ってるんじゃないかとお風呂に浸かりながら考えた。人と会話してたり適度（過度）に集中してる時以外、わたしの脳内では無限に言葉が流れてるので。使うエネルギーの種類こそ違えど消費自体はしてる。気がする。知らんけど。

「知らんけど」本家の地なのに有名になりすぎて最近妙に使いにくいんですがどうしてくれるんですか？

あ～、本当に今、望みとか何にもなくて、全部に満足して、“終わり”の状態なんだなあ、って、思う頻度が着実に増えている。どうせ長くは生きないでしょうとたかを括っ

すが、こういう破滅的な満足はどこかで朽ちるものなのだろうか……。字を書くことはかろうじて面白いから良かったけど。まあこれもどうせ今夜っきりの気分なんでしょうね。母親が神様じゃないことに気付いたのだって、一年も経ってないくらい最近のことだ。それでも世界はやっぱり広くて狭くて、見飽きないくらいには美しい。これから先も変わらずこっそり呼吸をしていけたら全然それでよくて、欲しいものは自分の足で取りに行く。わたしはその“もの”自体が欲しいわけじゃなくて、手に入れるまでの“過程”をもっとも愛しているから。

虚しい、ってよく言う。足りないものなんて何もなくて、気を失うように眠る夜が続いていてもなお、枯れて死んだ根っこの部分に思いを馳せるのをやめられない。嘘でも稚拙でもなんでもいいから早く小説を書く。作り話にもたれかかってないとやってられない。未来の自分に宛てた手紙の下書きを書いた。ざっと思考を巡らせただけで言いたいことが山ほど湧いてきて面白かった。ちゃんと書くつもりだから、忘れないように読んでくれるといいんだけど。

230217

完全に充電切れの就寝だった。夜に2日分書けばいいかと思ったけど脳もバグリそうだしそんな時間も気力もなさげなので今書く。

目の前でバスに乗り遅れる。

前のバス停は閑静な住宅街の中に佇んでたから光だけが溢れる静かな朝が常の状態だったんだけど、越してきたところは交通量が多い。朝から働く色んな車を見ることが出来る。

トラック、スクールバス、重機、タクシー。賑やかな朝。

鉄を飲みながら出勤。酸素運搬システムに初めて意識的に貢献している。

血液のこと心底忌避してたけど、この液体が身体に酸素やその他人生運営に必要な栄養素諸々を隅々まで運んでくれていると考えてみたら、グロいのって色だけじゃん！と思うことができた。やっとなんならグロさも含めてかわいい。生命はいついかなる時もグロテスクなものだ。

2月と3月の印象の違いってすさまじい。2月のイメージがホワイトグレーだとしたら3月はピンクやイエロー、オレンジあたりを連想する人が多いだろう。簡易的に言えば陰キャと陽キャくらい違う。すごいな。真逆の月が連なってんだもん。ロマンチックっていうのはこういうことだな。

疲れている。休出なので。元気はあるけどエネルギーがない。通勤時間が短くなってゆっくり字を書くこともできなくなっちゃった。今日は雨が降るらしい。また夜に。

終わり終わり。六連勤お疲れ様でした。

出来事としては色々あったけど心を動かすエネルギーがない。鍵を無くしかけたので早く追跡キーホルダーを購入したい。

岩手に行くならお金を貯めるしかない、わかってる、わかってるんだけどなあ。

生傷を抉られている。まあこれは後半あたりでちらっと喋るはずなので今はいい。けどそのせいでどっと疲れている。

酩酊して友達と喋っていたはずなのに料理と掃除に花が咲いていたらしく、なぜか来週分のご飯が出来上がっている上に部屋がぴかぴかになっている。毎週この状態を目指していきたい。

料理に使う時間がなくなるはずなので来週あたりから読書とか勉強とかができる隙間ができてくるはずんだけど……。想像以上に料理が楽しい時期なので逃避の感情から飯作りをしてしまってるかもしれないな～。メインはできたけど副菜はないし……。いや、読みたい本と吸いたいコンテンツで溢れてるんだけどね。

違う、日記だった。日記書く。

ちょうど一年前、の記録が大好き。今日もちょうど一年前あたりに書いた文章を読んだ。相変わらず忙しそうだったけど春の兆しが見えているみたいだった。

なんとなく安心する。去年のこの日もちゃんと生き延びてたことを確認できるからだろうか。春色のワンピースはわたしも欲しい。この前買ったワンピースを見せてあげたら喜ぶだろうな。海のワンピースもまだ捨ててないよ。教えてあげたいことがいっぱいある。過去に飛べるシステムが欲しい。わたしも未来の自分からのアドバイスが欲しい。

昨日友達とご飯に行って、ひとり暮らしのレポートをしていたんだけど、向いてない向いてないといめめそしてたら、意外やなあって驚いてくれた。わたしも全くおんなじ気持ち。

「結局人はひとりで死んでくし」論者の、陰気で根暗な女だと自分を定義づけてたけど、ちゃんと淋しさも認識するししかるべきときに人肌恋しくなれるかわいげが搭載されていたらしい。有効活用していきたい。

朝、コンビニに入ってレジで並んでた時に、お姉さんとおじいちゃんが喋っている会話の中身をたまたま耳にした。いつもヘッドホンしてるからね。

「たばこは?」「いらん」「いらんのね」「たばこやめてん」「絶対その方がいい」思わず眺めてしまっていた。中にあるちいさい“つ”が、三つは詰め込まれている「絶対」の発音だった。目をぱっちり見開いて、至極真剣な表情で、そのお姉さんはもう二回ほど「やめた方がいい」と繰り返した。「信用してへんやろ、たばこやめたん」と笑うおじいちゃんの、どこことなく嬉しそうな声が耳に残った。

わたしが会計を済ませた後もそのふたりの会話はまだ続いていて、水のしみたスポンジを絞ったときみたいに涙がじゅわりと湧き出そうになった。

なんでだろうとか探ろうとしたけど野暮ってもんよね。わかるでしょ、この文章を読み返してるわたしなら、この時のわたしの気持ちが。簡単に思い出せるでしょ。そういう自分でいてほしいよね、来年も。

失恋した人間に DM 送るわたしもわたしだけど、テンプレ通りに遊びに誘ってくる向こうも向こうだよな。性懲りもなくめちゃくちゃになる予感、いつまでも前に進めない。何を望んでるのか自分でもわからない。

どうせまたテキストに逃げてる。今はとりあえずそれでいいと思う。

というか恋とかいう地に足ついた高尚な感情じゃなくてこれはただの執着なんだから失恋とかそういう表現を選ぶのも全然違うんだけどね。

日記を始めて二ヶ月。引っ越ししてから一週間。節目が重なっためでたい夜だ。肌に馴染みすぎて三ヶ月はこの部屋で暮らしてきた感じがするな。テキストもなめらかだしね。まあまだまだ実家には到底及ばないだろうけど、この場所で生まれた文章もこれからどんどん増えていくことでしょう。楽しみだね。

深夜に書くとタカが外れて気持ちいいけど次の日の朝後悔してるんだろうな。知～らない。おやすみ。



なんか色々目新しいものを見かけたが、メモしてないので全然覚えていない。  
雑にしまいこんでた感情の蓋が案の定とつぜん開いてしまってめちゃくちゃになるなどして  
いて滑稽だった。不毛。消火に努める。

新月なのでアイスを食べている。

平気でどこでも泣くタイプの人間なのでラブソング聴いて泣きながら出勤していた。みんな  
いつも見て見ぬふりしてくれてありがとう。さっきまでぼろぼろ泣いていた女が提供し  
ているタイプの労働もある。

毎日通っているはずの通勤路でぱっと目を引く鮮やかなエメラルドの一軒家を見つけた。  
唯一記録してた目新しいもののひとつ。

エレベーター点検の担当者がマジで小野賢章さんに似てて、今日はその方の寝癖がものす  
ごかったので間接的に寝癖のある小野賢章さんを浴びることができてお得だった。

自分の望みさえわからない状態にここ数週間ほど陥っている感覚があって、割と長い間虚  
無が続いている。それなりに生きているとそう珍しい事象でもないとは思うけれど、それ  
はそれとして居心地は悪い。

うまく何かを欲しがったり望んだりする力が欲しい。手に入らないと勘付くと投げ出して  
しまいがちだ。でも情緒面で見ると手に入らないものに執着してるよね。何がしたいんだ  
……。

金色の夕暮れを頬に浴びながら、幸せそうに生きていきたい、というなんとも輪郭の曖昧  
なビジョンがふわっと浮かんだ。しかもなかなか不誠実でもある。

でも、虚構でもいいからせめて、幸せそうに生きていきたい。それがずっと嘘でもいい、  
ってはっきり思ったから、のちにこれが間違いだって気付くとしても、とりあえず今はそ  
れを残しておくね。

バスに間に合わなさそうだったから、aikoの甘い歌声を聴きながらゆるく走っていた。そ  
れだけ。でもなんだか堪らなくなってしまった。

出会えてよかったとか、これでよかったとかはまだ全然言えない。でももう、とりあえず  
元に戻ることを目指す。

ノンフィクションの恋はもうお腹いっぱい。新しい恋人を作って紛らわそうかとも思った  
が、もういいや。当分は若い人間らしく勉学と趣味に励むことにする。

生きていくこと自体が美しいっていうのは虚偽だけど、なにかと五感をつついてくる空間  
や景色はなんだかんだきれいだ。冷めないお湯に包まれるみたいにゆっくりと安心した  
い。静かに生きていきたい。

色々思うところがあってずっと聴けずにいたアイドルの歌を問題なく聴けるようになっ  
た。愛しい音のおかげで一気に生活に光が射す。大事なものを撫でるのは得意。

アイス美味しかった。おやすみなさい。いつでもいつまでも、いい夢だけを見ていたいよね。

230222

大幅に体調を崩していた。ウケるぐらいしんどかったので気ままに記録する。  
体調が悪かったから気分が悪かったのか、気分が悪かったから体調も悪くなったのかも  
わからない。でも、こうして連動しているのを体感すると、ああ、わたしはひとりでわ  
たしなんだなあ、という気分になる。

にしてもなかなか酷かった。悪夢かと思った。頭は痛いし尋常じゃなく寒いしそのせいで  
寝るにも寝られないし、体温計がなかったからどのくらい熱が出てたのかわかんないけど  
……。わたしは発熱してる時意地でも風呂に入る特性があるが、さすがに今回、復活して  
からしみじみ感心した。あの状態でよく入ったな。

孤独が症状を増幅させている感じがあった。昨夜、わたしが今発熱していることを知って  
いる人はこの世にいなかったし、死んでも気づいてもらえない事実、ほお……。となる  
などしていた。

寝ながら昼間の街の音を聴いてる。近くに幼稚園があり、生命力そのものみたいにあかる  
く弾けた声がよく聞こえてくる。

体調を崩す予告がいつもない。でも、前日のメモを確認したら朝目が開かなかったことに  
びっくりしてた。たしかにびっくりした記憶はある。

生存すべてに後ろ向きな時期なのであまり表に出ないようにする……。

掃除好きだったな〜って思う。綺麗な状態にするのが目標ってわけじゃなくて、掃除の工  
程（だけ）が純粋に好き。だから1週間でみごとに部屋をとっ散らかすことができるわた  
しの特性ととっても相性がいい。これってすごく綺麗な公式かも？  
まあ家族には散々叩かれてたので、やっぱり集団生活を恨まずにはいられんが……。い  
や、過ぎたことなのでいいです。なるべく最善の距離でひとと生きていきたいよね〜。

まだ孤独の取捨選択が出来てた学生の頃の方がやりやすかった感じはあるな。人間関係で  
悩んだこととかあんまりなかった。ただの運だろうけど。まあその分、別のポイントで詰  
んでたわけですが…。ほんといつになったらうまくやっていけるようになるんでしょうね  
…。

230303

家事だけで一日を終えることがなくなってきた。

歳を重ねるごとにわかりやすい成長とかだんだん感じられなくなっているけど、生活を初期値に戻せば新鮮さはある程度復活する。怠惰に行き詰ったらちゃぶ台返しをする、そういうことを繰り返すだけの人生。

さむかったから湯船に浸かった。あったかいになった。

生活のメモは残してたけどばたばたしてて日記をできなかった。いつの間にか三月も始まっている。いろんなことが落ち着いて程よい気怠さが帰ってきたので、本腰入れて記録しようと思う。

とは言いつつ、ひとり暮らしが始まってけっこう他人の侵食の心配をしなくてよかった。らしい。ひとりになれる時間がなさすぎて、しかしあまりになさすぎると私は自分が削れていくような感じがしていた（多分。もう忘れた）。だから記録に固執してたんだろ

う。

もうそういう欲が今はほぼほぼない。習慣に甘んじて書いてるだけって感じがする。たのしいんだけどね。

実際先週は気ままに小説を書いていた。守られているという前提のもと、好き勝手書くことができた。瑞々しい。

ここは夜が静か。自分が動かない限り空気が揺れることがない。ただ、必要な刺激も総じて均してしまったなあって思ってた。静寂って無機質。孤独を選ぶにはこれしかなかったけど、あまりにも無。焼け野原に似てる。愚かだなあと思う。

一度春になった季節はもう二度と冬には戻らない。一度その境目を越えると、その後にいくらか気温が下がろうがそれは春の雨でしかないし、春の雪でしかない。すべてが春の所有物になる。

って調子に乗ってたらマフラー忘れてしっかり冬にしばかれた。かわいいところあるじゃんね。拗ねなくてもまた来年会えるのに。

朝、バスを降りたら雨が降ってた。でも、雲の隙間から日光もちゃんと射してて、人々の折り畳み傘ときらきらひかる橙の朝日が共生しているのを眺めてた。浴びてもちっとも淋しくならない暖かい雨だった。むしろ祝福みたいだった。

春の海がいちばん死に近い感じがある。天国の抱擁に似てる。冬の雨は体が強張るからうっかり沈んでも細い呼吸がしぶとく続く感じがあるけれど、春の海は喜んで最後の酸素を使い切ってしまうような危うさがあって、なんとなく今年はそういうのに触れたい。

海には夏しか行かない。夏を惜しむための偶像としてしか海を見たことがない。でも、忙しいのが落ち着いたら行きたいな。四月にでも。

自分の恋愛はどれだけ実像に虚像を重ねられるかにかかっていて、それはもはや自分で産んだ虚像に恋しているのと変わらなくて、もっと言えば自分に恋をしてるのとまったく相違ないなとしみじみ実感してからは、何もかもが馬鹿馬鹿しくなって全部やめた。

神格化って自覚したからやめられるような代物じゃないらしい。

“他”に縋れないのは致命的だけどできないなら仕方ない。人生は長いからそのうちできるようになるでしょう。ということで今年はなるべくあらゆる社交を断ち切ってがっつりと引きこもる一年になります。

ずとまよの「夏枯れ」をひび割れ気味の音しか出せない古いスピーカーで流している粋な海水浴場に出くわしてから、海を浴びたくなった時はこの曲を聴けば事が済むようになった。

訳がわからんくらい大雑把なくせに訳がわからんくらい神経質なせいで周囲の整い具合のグラデーションがすごい。この部屋の進化形として水回りだけ異様に整っているゴミ屋敷とかが完成されている予感がする。

仕事もうめっちゃくっちゃで、自己評価がボロボロなので、毎日百さんのこと考えて凌いでいる。百さんの女攻め夢小説が読みとって、彷徨っている……。春原を攻めとして泳がせておきながら強制受け転換させるつよつよの夢主がいい……。そんな夢小説は存在しない……。疲れています……。さようなら……。

さみしいのでぬいぐるみ集めをしたい。抱ける感じのおっきいもふもふがいい。相棒を探しつつ生活するよ。ありがとう三月。だいすきだよ。四月はもっとすきだよ。

春っていつも一年振りとは思えないくらい親しさで日々に紛れ込むのがすごい。なるべく長くいてほしい。桜とかだいすき。今年は意地でもお花見したいな。

初恋の男が星野源さんに酷似している。ので、星野源さんがトピックに上がる度に心臓がうってなる（完全にこちらの私情）。早めに寝るつもり。実況プレイ動画をみて気を紛らわせながら。

家事だけで一日を終えることがなくなってきた。

歳を重ねるごとにわかりやすい成長とかだんだん感じられなくなっているけど、生活を初期値に戻せば新鮮さはある程度復活する。怠惰に行き詰ったらちゃぶ台返しをする、そういうことを繰り返すだけの人生。

さむかったから湯船に浸かった。あったかいになった。

生活のメモは残してたけどばたばたしてて日記をできなかった。いつの間にか三月も始まっている。いろんなことが落ち着いて程よい気怠さが帰ってきたので、本腰入れて記録しようと思う。

とは言いつつ、ひとり暮らしが始まってけっこう他人の侵食の心配をしなくてよかった。らしい。ひとりになれる時間がなさすぎて、しかしあまりになさすぎると私は自分が削れていくような感じがしていた（多分。もう忘れた）。だから記録に固執してたんだろ

う。

もうそういう欲が今はほぼほぼない。習慣に甘んじて書いてるだけって感じがする。たのしいんだけどね。

実際先週は気ままに小説を書いていた。守られているという前提のもと、好き勝手書くことができた。瑞々しい。

ここは夜が静か。自分が動かない限り空気が揺れることがない。ただ、必要な刺激も総じて均してしまったなあって思ってた。静寂って無機質。孤独を選ぶにはこれしかなかったけど、あまりにも無。焼け野原に似てる。愚かだなあと思う。

一度春になった季節はもう二度と冬には戻らない。一度その境目を越えると、その後にいくら気温が下がろうがそれは春の雨でしかないし、春の雪でしかない。すべてが春の所有物になる。

って調子に乗ってたらマフラー忘れてしっかり冬にしばかれた。かわいいところあるじゃんね。拗ねなくてもまた来年会えるのに。

朝、バスを降りたら雨が降ってた。でも、雲の隙間から日光もちゃんと射してて、人々の折り畳み傘ときらきらひかる橙の朝日が共生しているのを眺めてた。浴びてもちっとも淋しくならない暖かい雨だった。むしろ祝福みたいだった。

春の海がいちばん死に近い感じがある。天国の抱擁に似てる。冬の雨は体が強張るからうっかり沈んでも細い呼吸がしぶとく続く感じがあるけれど、春の海は喜んで最後の酸素を使い切ってしまうような危うさがあって、なんとなく今年はそういうのに触れたい。海には夏しか行かない。夏を惜しむための偶像としてしか海を見たことがない。でも、忙しいのが落ち着いたら行きたいな。四月にでも。

自分の恋愛はどれだけ実像に虚像を重ねられるかにかかっていて、それはもはや自分で産んだ虚像に恋しているのと変わらなくて、もっと言えば自分に恋をしてるのとまったく相違ないなとしみじみ実感してからは、何もかもが馬鹿馬鹿しくなって全部やめた。神格化って自覚したからやめられるような代物じゃないらしい。“他”に縋れないのは致命的だけどできないなら仕方ない。人生は長いからそのうちできるようになるでしょう。ということで今年はなるべくあらゆる社交を断ち切ってがっつりと引きこもる一年になります。

ずとまよの「夏枯れ」をひび割れ気味の音しか出せない古いスピーカーで流している粋な海水浴場に出くわしてから、海を浴びたくなった時はこの曲を聴けば事が済むようになった。

訳がわからんくらい大雑把なくせに訳がわからんくらい神経質なせいで周囲の整い具合のグラデーションがすごい。この部屋の進化形として水回りだけ異様に整っているゴミ屋敷とかが完成されている予感がする。

仕事もうめっちゃくっちゃで、自己評価がボロボロなので、毎日百さんのこと考えて凌いでいる。百さんの女攻め夢小説が読みとって、彷徨っている……。春原を攻めとして泳がせておきながら強制受け転換させるつよつよの夢主がいい……。そんな夢小説は存在しない……。疲れています……。さようなら……。

さみしいのでぬいぐるみ集めをしたい。抱ける感じのおっきいもふもふがいい。相棒を探しつつ生活するよ。ありがとう三月。だいすきだよ。四月はもっとすきだよ。春っていつも一年振りとは思えないくらい親しさで日々に紛れ込むのがすごい。なるべく長くいてほしい。桜とかだいすき。今年は意地でもお花見したいな。

眠い。五秒で書く。

全然体感一日くらいしかサボった感覚なくて、でも三日経ってたらしい。落ち着いたものの目まぐるしさは変わらない。もう土日終わってるし。魂が金曜日に取り残されたまんまなので悲しみが追いついてない。

忙しいとかじゃなくてツイッター見すぎてただけらしい。仕様変わってからスクロールしてもスクロールしても新規ツイートが流れてくるのでやめどきがなさすぎてかなりまずい。こうなるから私はフォロー数を絞って調整してるのに……。脳が疲れたのでしばらくツイッター自体やめざるを得ない。

これでもいろんなところに行ってた週末だった。

お腹がいっぱいなのにご飯を欲してしまうけれどお腹がいっぱいなので物理的に入らない感覚がずっとある。比喻ではなくそのままの意味で。

めちゃくちゃ長いエスカレーターを使用した。私はめちゃくちゃ長いエスカレーターがだいすきで、近辺にあるめちゃくちゃ長いエスカレーターを挙げてくださいと突然振られても完璧に答えることが可能です。

新規めちゃ長エスカレーターを発見したからとってもはしゃいでしまった。比較的近かったけれど使わない電車のものであったからもしかしたらもう使わない可能性すらある。悲しい。

梅見に行った。今年は梅も桃も桜もしっかりお花見するつもり。なんかこんな生活が続いてるのって悔しいから。理由はそれだけ。

さまざまな会話。「心配性と慎重はまた違うよね」と説明する男の人と「パパはどっちでもしょ」と鋭く返す女の人。「菜の花？ 昨日食べたわ」とこぼした女子高生に爆笑してる女子高生。

ていうか制服で日曜の花畑に来るなんてかわいいがすぎるな……。羨ましいぜ……。もちろんさまざまな年齢の子供もいた。賑やかだった。

春爛漫になってから腰を上げることが多かったから芽吹きたての春を浴びるのがなんとなく新鮮だった。土曜の朝、洗濯物を干してるときに（春だ……！！）ってなってすぐ近くの公園を調べたわけだけど、見る予定のなかった梅も拝むことができたし、今回は結果的にとても良い外出になった。

はあ。

今日は虹色の観覧車が電車から見えて、それからがらんとした車両に乗り換えた。あんまりコンディションがよくなかったかも。今はわざと対人用の仮面を休養させているので、休日にと人と会ってもろくなことにならない。隠居することだけ考えて生活してる。頬の筋肉がだんだんと偽りを忘れて、でもこっちの方が本当は本当なんだよ。



どうでもいいことに心を割いてないでちゃんと字も書きたいしね。私は私の字を読んで生きていくしかないんだから。サイトもかわいくしたいんだ。日記用の個人サイトも欲しい。心配しなくても半径3メートルの人生のことしか見通せないんだし、そのまんまでいい。だって私たち明日にはしんでるかもしれないんだから。

ああ、なんか全部忘れた。寝る。なんか頭痛いんだよね。寝不足って訳じゃないはずなんだけど。アニメイトで見た Re:vale のファイル、表情がめっちゃくちゃかわいすぎて見惚れちゃって、ただの恋だったな、あれは。

なんか脳直の言葉しか出てこない。

子供を育てる感情体験をしてみたいなって、この頃ことあるごとに思ってた、でもどうしても非道德的だろという考えがよぎる。罪を犯すように子を産むのだろうか。

最近は何根拠もない気持ちが堂々巡りを繰り返すたび、考えすぎだと目の前に集中する感覚を思い出すようにしてるが、どうなんだろう。この件も考えすぎのひとつなんだろう。ひとの生命の元凶になっておきながら、その後のことは産み落とした他人の人格に丸投げだなんて、本当に恐ろしいことじゃないんだろうか。

この疑問は放置するべき疑問なのでとりあえず吐いてみた。絶対に変わらない考えも感情も存在しない（そしておそらくそっちの方がいい）ので、今後に期待はしてるけど、どんなふうに未来の自分が自分を裏切るのか、早く知りたい気持ちがないでもない。まあでも生き急ぐ必要もないよね〜。寝ます！

しばらく Twitter やめて引きこもるぞ……。

やりたいことやらなきゃいけないことがペースト状になって私の全身をべどべどに覆っていくけど一旦忘れる。しゃもじを買い忘れた。明日買う。

来週末に友人が泊まりに来るけど到底人を迎え入れられる状態ではない。頭を抱えている。タンスが故障して本をしまっている段が閉まらなくなってしまう、このままでは私のBL漫画の嗜好がもろばれになってしまう。今は給与明細の封筒と医療費の書類で目隠しをしている。死のう。

なんだっけ。特に何もなかったよ。今週土曜出勤なんだよな～。ずっと面倒くさがってた仕事があったけどもう明日手つけるって決めたから。さようなら、億劫な日々。

いろんなものを取りこぼして、なんの意味があるんだ……。

ご飯炊くのってめちゃくちゃ面倒くさいね。日曜に炊飯器を迎え入れたんだけど不慣れゆえに生活が圧迫されているのを感じる。マジで冷凍ご飯が嫌いなんですけど、嫌悪と怠惰とのバトル、どっちが勝つかね。しかし、すでに炭水化物をやめたくなっている……。近頃本当にメンタルのバランスが最悪で毎日怯えながら仕事してる。やめたい。山で芝刈りか川で洗濯かしきしたくない。書類整理しきしたくないよ～……。年度末だし書類ちゃんとファイリングしたくなる時期なのに年度末がそれを許さない。気持ち悪いよ～。何も片付かないよ、家も仕事も……。

泣き言吐いてたら元気出てきた？ そうでもない？

ぼうっとしてたらよくないスイッチが入る。心理学の本読んでTOEICの勉強して二次創作しまくって日記のサイトも作るぞって一日が50時間ある者にしか許されていない抱負を立ててまた無駄にへこむところだった。毎日の塩梅がいまだに掴めない。どのくらいならできてどのくらいならできないんだろう。せいぜい列挙したうちのひとつぐらいが限界だろうなと思うが。

疲れた。早く寝たい。やりたいことが百個ある。嘘、もう何もせずにすべて滅んでほしい……。 (この状態を一日繰り返していた。疲れた)

最近をよく夢を見る。もう覚えてないけど。夢日記も好きだったんだよ。今はつける余裕ないけどさ。いやでもちゃんと夢見たいな。毎日ここで夢の話ができるようになるぞ。

ほらこうやって油断するとすぐ決意するでしょ？ やめなって。

電子レンジを暗闇で使うとこわい。大丈夫だろこのぐらいと思って先日湯たんぽをレンジに突っ込んで電気を消し布団に潜ったんだけど、怯えに満ちた三分間を過ごすことになった。こわい。

全然三月の気分じゃない。このままじゃ置いていかれてしまう。去年は三月に取り残されたまま六月ぐらいまでは優に辿り着いてしまっていたし、なんなら真夏の間も月日経過感覚ゼロで過ごしていた。そんな目にはもう遭いたくないんだ。

ツイッターやめると途端に思考が薄くなるな。色々整理してもう寝る。多分疲れてる。

仕事とバイオリズムが合わない。どうしても休めないけどどうしても行きたくない。

そういう時期だとわかっていてもきつい。

特に書くこともないまま来た。こういう心持ちの時にひとりになるのは限りなく間違いに近いが、どうしようもないのでひとりで眠る。土曜出勤とメンタルバランスが噛み合う時のほうが少ないのはそうなんだけども。早く日曜になってほしいな～。

今週は夢を記録していた。特に解像度が上がることもなく、ただ毎日夢を見続けた。今日はちょっとグロテスクだったかな。

絵に書いたような春が到来している。作り物くさくて嘘くさいので、細い目で見つめている。薄雲がかかって霞んだ朝日。橙色にひらめく川の水。マフラーがなくても出勤できるぬるい空気。

3月7日のメモに、「全部の大事なものをなくしている気がして本当に悲しい」と残っている。

書くことはいっぱい溜まっていたはずで、期待してメモを見たらこんなのしかなかった。残してなかったらしい。

取りこぼしたものを惜しむ暇さえない。周りの人間がみんな忙しそうで、逆に身が入らない。そういう態度がひとを刺激するとわかっていてもなんとなく、ひとりだけカメラのピントがぶれてしまう。

眠れない夜にふらっと寄っただけ。最近素面の文章が少ないな。引きこもるようにはしてるんだけど、ちょっとかたい。

寝た方がいい。明日は仕事だから。5日ぐらいひとりになりたい。うそ、気が済むまでずっと、なくしたものを思い出せるまでずっとひとりがいい。

友人がお風呂に入っている。湯沸かし器が発動する音を初めて聞いた。今日は友人の方が帰宅が早く、布団は整えられ、食器も洗われていた。こんな喜びを知ってしまったら、私は、もう……。

日曜日、実家に帰った。一ヶ月ほどひとりで暮らして、初めてのご帰宅だった。実家までは10分ほどで行ける距離なので帰ろうと思えば毎日帰れる。

なんというかもものすごく、コンディションが悪かったのもあっただろうけど、自分の家に帰ってきたあとめっちゃくちやぐったりしてしまっていたねえ……。

弟のお祝いも兼ねてケーキを買っていった。他人行儀だなあと思う。こういうときに感じるさみしさの方が割ときついかもしれない。

二十年間一緒に暮らしてきた家族に、完全に外側から触れるということ。すこし離れて下から見上げると、その木の立派さがたいへんよくわかる。自分が枝葉だった頃には気付かなかった豊かさにも。

あんなに大きな根元を、かつては赤の他人同士だったにんげんふたりで築くということ。揺るがないものの生成力にちょっと感動してしまった。こんなことを成し遂げられるんだな、ひとは。

小学生の妹たちと腕相撲やトランプをした。正月っぽさがあった。あと、弟は生クリームが苦手であることをすっかり忘れていた。ショートケーキに乗ってる半分の苺とチョコプレートを食べていた。それでも文句はひとつも言われなくて、おそろしく和やかだった。帰り際にいつも通り忘れものをした。

誰にとっても安心できる人間でいたいと思っている時期があった。

今もそのマインドは忘れていないつもりではある。誰にとっても安心できる自分でいられるために、自分がまず自分に安心できるようになる、する。っていうのが、割と根幹のポリシーだった。

途方もないことだってことに、今日、やっと気が付く。自分の中にいる悪意を否定しないということ。でも、それをゆるすと、今度は悪意がどこかに向いてしまうということ。矛盾の破裂。

まあ、私の性格を知るひとにこの根幹を掲げるなんてとてもじゃないけどできない、ぐらい自己中心的な人間なので、こんなのははなから夢物語ではあるんですけども……。

ねむくなってきた。結論が出せない。毎日つかれた。繁忙期。すべてのラッキーが降ってきてほしい。うそ、そんなのは別にいらない。はやく終わってほしい。

あの夜のことを思い出すことが多い。あれから二回ほど人とカラオケに行って、人知れず二回ともめちゃくちゃになって帰ってきている。

原曲を聴きまくり、自分でも歌いまくっている。もうあの子の声で歌われたあの曲を思い出すことも一生ないままだろう。いくら思い出したくても。

歌うたびにあの夜が薄れる。上書きするためにまた擦る。

さようなら、と思いつつ、あの子とはまた四月にふたりで遊ぶことになっているので、もうどうにでもなってほしい……。

部屋のそこかしこが好きな柔軟剤の匂いでいっぱいになっている。

当たり前のことを忘れて、狂って、また思い出すだけ。それだけを繰り返しながらこれまでやってきたらしい。憂鬱になって回復するたびにそういう現実を目の当たりにして、ほんとげんなりしてしまうねえ。

日記、毎日書くのをやめちゃうと取りこぼしたことばかり気にしてしまう。やな趣味。ずるずる続けるんだろうな、これしかないから。じゃあね。もう寝るね。

臓器がオフになっていく。日曜日ぶりのひとり。気心知れた友人だったからか、不思議と閉塞感はなかった。ゆっくり眠る。

おしごと疲れたが……？になっている。いつものことだな。

朝からショッキングなストーリーを目撃してしまい、大打撃を受けて、さようなら……。になるなどした。

美化しまくって原型をなくすことが私にとっての復讐になり得るのだろうか。虚しすぎるが。

「夢中になる前にわかってよかった」などは完全に負け惜しみ。そんなことを口にするのは無粋。

強がりって可愛い。丸十日泣きじゃくって腫らした目を擦りながらそんな歌詞を歌ってしまっしてほしい。かわいいので。

あの子から、過去に同性を好きになった話を聴いたことがある。いつだったか覚えてない深夜に、さりと。

あの瞬間、あの子の荷物は軽くなっただろうか。そう言ってくれると思ってたで、と笑ったあの子が、あの瞬間きりだとしてもすこしの安心を得られていたなら、まあそれでよかったかもしれない。今は思い出すのが私の側だけだとしても、そんなことになんら問題はない。

しかし、それなら私の受け皿は誰が担ってくれるんだろ、と膝を抱えてしまう気持ちはまた別に存在する。

朝、気が狂っていたのもう告白するしかないと思っていた。そのために誰かに相談しよう、もうとてもじゃないけど持ちきれない、私だってちゃんと私の人生を取り戻したいって。

何が誰にとってどのくらい最善か、微量の妥協を繰り返しつついろんなパターンを繰り返している。こんな邪魔くさいことは信義に反することではあるんだけど、今回限りは友情も絡んでいるので仕方がない。綺麗事だけど、人を傷つけるくらいなら自分を傷つける方がまだマシで、そのルールを恋愛にも適用するとグロいんだけど、じゃあもうどうすればいいんだって……。いや、終わりのスイッチはいつでも手元にあるんだから、押せばそれでしまいなんだけどね。

いつまでもこの時間が続いてほしい、という貪欲さよりも、充実した時間を過ごすことができたな、と満足感を得られることの方が、成熟してる感じがあるよな。老いかな。ってお風呂入りながら考えてた。

ああなんか転調して BAD 入る気配ある。さようなら、って最近口癖になってきた。

結婚してみようかな。したことないことをずっとしてたい。岩手に行く準備をしてしまっている。ひとりで行くんだよ。教えてあげたいな、過去の自分に。

この世への未練をすこしずつ手放していくということ。積み重ねた過去にしがみつくということ。瞬間としての人生。明日のために整えた蒸し豚キャベツの準備。ひんやりと乾いた部屋。朦朧。十二連勤。

うまく人を頼れないことがコンプレックスになりつつある。人の皮がすこしずつぎこちなくなっている。どうしょ〜。陽気でくるんだ陰気の底に本物の陽気がすこしだけ混じってるんだよ。みんな上手に私のこととっ捕まえて掘り下げて、ちゃんと最後まで見つけてね。

さようなら……。

疲労状態にもかかわらず不適切な量の飲酒をした。喉が渇きまくるので水をたくさん飲まなきゃいけないのがだるい。不適切な決断もした。でも、明日になっても気が変わってなかったらそれはそれで嬉しい。

幼児と関わるなどした。あの年で既にひとりひとりに明確な人格や個性があって、当たり前だけどあの子たちの人生は既に始まっていて、すごすぎて圧倒されていた。着々と上下を見極めて周囲の調和に努める子、前に飛び出て積極的な姿勢を保ち続ける子、注意されてもずっとにこにこ微笑んでいる子。

精神がもうよぼよぼなのでエネルギーを処理しきれない。ほお……。になってしまった。人が好きだなと思う。おもしろくて。

当分人間関係を断つことにした。Twitter もインスタもやめてドラクエする。小学生の時にやり込んでたやつ。演出懐かしくてめちゃくちゃわくわくしちゃった。楽しみ。ゲームは今まで時間がなさすぎて未開拓だったのでこれからじゃんじゃん深めていきたい所存。

トイレの電気のつけっぱなし癖が治らないことと、錠剤飲みが下手くそなことに悩んでいる。3時間ぐらいつけっぱなしにしていたことに気付いた時の虚無はすごいし、ビタミン錠を飲むときに毎回えづきかけるのがストレスでたまらない。

居酒屋のうるささには独特の淋しさが含まれていて、死にそうになる。love so sweet が流れていて、全身が大きい穴になった。イカ焼きはお祭りの味がした。空洞を埋めるように洒落にならない量を食べてしまうのをやめたい。それはそれとして酒は美味しかった。外で人と飲む酒は美味しい。

自分の選んだものだけで人生が作られていてほしい。これ以上自分に裏切られたくないし、自分を裏切りたくない。

アルコールに吞まれて「わたしの人生でこれからもずっとウインクしててよ できないならわたしの人生に登場するなよ」って Twitter みたいなこと肉声で呟いて心底嫌になった。いつも醜態晒してごめん春原くん。もう卒業するからゆるして。

にしてもストレスフルで食生活も終わってたのに、ビタミン錠のおかげで口内炎はひとつもできなかった。愛。こういう裏切られなさが好き。いつだって一瞬でいいから永遠を信じたいだけ。それだけ。

眠すぎる。振替休日欲しすぎる。ひとりで生きていく気概も欲しすぎる。



大した量じゃないけど短時間で飲んだので一気に酔いになってしまいました。身体中が乾き、水をがぶがぶ飲んでいる。怠惰な一日を過ごしたにもかかわらず、大抵の家事は済ませてご飯も作った。とてつもない所業。

記録を書こう書こうと思いながらめっちゃ面倒臭いっていう気分の日が二、三日続いての、今日。忙しかったんよね。疲れてたしね。でも、字を書くのをサボると現実の現実味がどんどん薄れてしまい、学生の頃はそれでもよかったものの、今はただ単に怖い。社会的にまずいっていうのもある。

人をやめたがっているくせに人になることを諦めきれていない。人のこと大好きだしね。自分のことに対する興味関心は薄れる気配がないからここに賭けることにしたけど、そういう選択もなんかわたしの人生って感じがしてとってもグットなんだけど、結局死ぬまでわからなかったらどうしようって思う。死ぬまでわかんなくて、死ぬ段になっても解決しなかったらどうしよう。

それでも最善を尽くすために人生をしようと思う。

昨日。家族で花見をした。真っ青の空の下で、旬を終えた桜の花びらがそこらじゅうを惜しみなく舞い、地に落ちていた。

花見をするっていう目標ごと去りつつあったから、最後にこうしてちゃんと見ることができてよかった。散り際の桜が好きかもしれない。来年は狙っていきたい。

これから進もうとしている地点について母に話してみたら、「好きなようにやったらいい」とあっけらかんと言われて、そっか〜、って思ったりした。

ああ、進路を決めるときに彼女が発した助言は彼女自身の考えだったんだ、ってやっと気付く。自分で道を決めてこなかった代償だ、って同時に湧き上がる。でもそんなの突きつけられてからじゃなきゃわからない。あの頃の自分にもそれなりの事情があったことはわかる、それごときっと受け入れられるし、これまでの選択に何も後悔はない、それでも、このささやかな悔しさだって今のわたしが抱いたのは事実だから、それもそれで、ちゃんと抱きしめて、これからちゃんと選びたい、って思う、ただでさえ虚しい時期が多すぎる道だから、そのくらいはせめて。

それからちゃんと、わたしはわたしを最後に叶えてあげたいって思う。

身体が勝手に独り暮らしに順応していく。もうじきに二ヶ月になる。実家と家が混じった建物が夢に出てきて、どこに住んでいるのかわからなくなった感覚を味わってから、ずっとすこし混乱している。

テキストはやめたくないなあって思ってて、これが唯一の社会とつながる手段だし、わたしの思考の証拠だから。

好きなエッセイ書きさんが、子を産んだ理由を「子供を持った自分の面を拝んでみたいから」と述べていて、うわあ~~~~、私がもし将来子を産むとしたら絶対にこの理由だ……。と思うなどした。

結婚相談所から電話がかかってきて、流暢な案内を受けた。ああいう市場の人と初めてまともに話したからその強引さが新鮮で面白かった。実際にその事案で困っていたらまんまとあの声音に絆されてしまうだろう。焦っているときにどうにかしようと事態をひっくり返すべきではない場合も、結構あるのかもしれない。

気が狂いそうなほど陽気が柔らかい。春に狂気の気配を察知するようになった。歪な生ぬるさがある。素直に享受しとけばいいのに。どうせすぐに真夏が来る。

友達とべったり飲んで食べてをした。高校来の友人。いろんな話をした。素直で可愛くて面白い、性根のはっきりしているいい子（私の友達はみんないい子）で、ちゃんと人間をやっている友達の話を聞いたたびに感心してしまう。

ある程度まではほろ酔いレベルを維持できて楽しく飲めるんだけど、適量以上を飲むと酔いが覚め、目が据わり、無双モードに入ってしまう（ここの分岐で寝てしまう時もある）らしく、ウケた。この性質は二十歳になったその月に発覚し、深夜まで飲み倒しても理性を失わずに済み、それはそれでさみしかった（おかげでアル中にもなりかけている）。

ズッキーニにさっくりと包丁を入れた瞬間、二度目の恋に落ちていた。明太子ほどじゃないけど、わたしはズッキーニのことをなかなか気に入っている。婚姻を結ぶほどではないけれど、二年に一度無礼講で飲みたくなる感じの、そういう感じの関係。知らんけど。

豊かなふりして毎日ドラクエしかしていない。のんびりフィールドを彷徨っているのもまだ序盤。小、中学生の時に一度全クリしているはず。ラスボスの情報をチラ見せされるたびに懐かしさで身体が震える。課金したあすけんには見向きもしていない。良くも悪くもすぐに金を払うのをやめろ。

ひとりのアカウントを運用しているおかげで、そこそこに自己のコントロールが取れている状態も続いている（はずだよな?）。やっぱり孤独は大事。飲酒のせいでいつも早々に眠くなる。眠い。ドラクエしたい。

休み、三日あればちょうどいいのにつて毎回思う、でも週休1日の時はそんなこと思わなかったな。実家暮らしの時よりうんと眠っているのに、毎日億劫でたまらない。願い続けた願いが叶うとこうなりがちなので、わたしは願いが叶うことに夢を抱けないがち。

好きなアイドルのグッズを手放したりしている。べらぼうに高い値段をつけてメルカリに出したりして虚しさを味わっている。このものに込められた価値はわたしにしか味わえないはずのものなのに、持ち続けることも耐えられそうにない。売りに出している、というポイントですこし気持ちに整理をつけている。いかんせん拗らせすぎている、が、もう後の祭りなので一周するのを目指す決めてる。

長々になった！びっくり。そんな中身もないくせにね。寝る。おやすみ。

230403

新年度だった。日中メモをとっていないので率直に記録してみる。アプリを変えて、テキストエディタへの課金をやめた。削れるところは容赦なく削らないといけない、と思いつつ、心の穴を埋めるための食物をたんまりと買ってきた。

新しいエディタはいい、書くものも書く人間の中身も何も変わってなくたって、何かが変わったような気分になれる。

早く目に優しい暖色のライトが欲しい、スタンドライトが白くて眩しい。

新入りのぬいぐるみを Amazon に届けてもらって、勤務中ずっとお届けを楽しみにしていた。メールで届いているかどうか分かるのはいい、確定されている楽しみが嬉しい。確かなものじゃないとよりかかれなくなって、精神の衰えを感じる。

肌荒れ対策をとっているが、明らかに食物で肌を破壊しているので、いくら外から塗り込もうが無駄であることをわかっている。

花は遠目から見るとまだ十分に残っているように見える、間近で見ると葉が混じっているのだろう。ピントをぼかせば、いつでもどこでも大抵のものはうつくしい。

なるべく毎日記録をしたいな。ドラクエをひらけば一瞬で時間は溶けますが……。消費の味より生産の味の方がやっぱりわたしの舌には合うようで、結局こうして戻ってきてしまっているわけだしね。

ずんずん来る感じの歌を聴いている。ずんずんしている。

またすぐに週末が来るから心配しなくていいのよ。ご飯は面倒ならいつだってさぼってもいい、やめちゃいけないものなんてなくて、その中でやめたくないものだけ大事にしていけばいいんだと思う、本当は。

おはようとおやすみが同一線上で重なっている気がする、くらい日中の実感が薄い。  
字を書く時間がなくて焦っているけれど、解決するには液晶を見ていないで愚直に書くしかない。そろそろアナログに走りたいけれどそんな時間もない。適当なご飯を作って食べた、味は美味しくて、アマブラで流している映像は面白かった。何度か声を上げて笑った。気付いたらお風呂にはもう入っていた。洗い物はまだ残っている。冷蔵庫に今日で賞味期限が切れるシュークリームが。なんてことない一日一日ばかりで、なのに些細な事象ひとつひとつを細やかに拾い上げてしまうこういう期間を以前は心底大事にしていた、喜びと共に毎日を過ごしていたが、もうこの感覚にすらわたしは慣れてしまっていて、すべてのものに涙を流してすべてのことに柔らかく傷つく期間を、浅い呼吸をしながらやり過ごして、これからを彩る夢想に逃げて、おざなりな仕事をして、またねむる。

なんていうのは嘘。

このところ睡眠目標を達成できているらしい。「よかったですね。」とヘルスケアに毎朝言われる。温かい響きを受け取る日もあれば、冷たい響きを感じる瞬間もある。

よかったですね。って、声音や表情で意味がひっくり返るから、どきっとする。どんな言葉もそんな側面を持っているんだろうけれど、祝福を示す言葉にさえ、人は悪意を込められる。

頻繁に新しいメロディを捕まえることができている。お気に入りの旋律に囲まれて毎日ご機嫌。

0404 って好きな日付トップテンにはいっちゃうね。

職場の休憩室にお菓子ボックスができて、ハッピー。わんさかお菓子を持っていきたい。スマホを職場に忘れて帰ってしまい、せっかく退勤が早かったのに引き返すことになった。歩いて十分弱の道のり。こういう時のために音を聴いて道を歩いている節も数ミリある。わたしは家族と出かけて音を手放して一日を過ごした際、三万のイヤホンを紛失している。ある日はバスのベンチにスマホをおいたまま乗車してしまい、Bluetooth の切断で気付いたことがある。

イヤホンもスマホもないと困るのに目を離すとなくす、いつもありがとうって思ってるのは本当なんだけど。もたもたしていないで鍵のスペアを本当に早く作らないといけない。取り返しがつかなくなる前に。

「欠落はどうしても、何かを失くさないと感じることはないよね」。お気に入りの語感だ。いつかの小説で使おうと思う。日の目を見ないとさみしいので今見せておいた。いつかの自分が読み返して、いいじゃんってなってくれたら万々歳だ。それだけでいい  
もう 10 時になっちゃった。かきかけのテキストに手を加えてから寝るつもり。字を書くとドラクエができない。ドラクエをすると字が書けない。ぎゅっと水の詰まった果実を食べたい気分。さらさらした文書ばかりを読んでいる。節々で刺される感覚が懐かしくて愛お

しい。この感触だけを切実に求めていた季節もあった、今はもうそうじゃない、欲しくないから躊躇いなく手に入れることができる。指で触って、握りしめてみたりして、確かめることができる。それはとってもいいことだと思う。進むばかりで戻らない時間の、唯一の美点だと思う。

寝る。繊細な日々もじきに終わって、また心が死んで、生き返るだけ。おやすみ～。

ひとりだと何気なく始めた作業にありえないくらい集中できる。もう2時間くらいぼんやり字を捏ねたり書いたりしていたらしい。

10月までに少なく見積もっても6万字は二次創作をしないとイケない。私はこれを成し遂げないと死後成仏できないのでやり切って天国に行くかやり切る途中で死んで免罪を要求するかの二択しかない。その2パターンの分岐しかこの人生には用意されていない。そういう気持ちでやっていく、これからの半年弱を。

「そんなにお腹が空いてないのにマクドナルドを買って帰った者が落ちる地獄」に落ちる予定が、するすると胃袋にマクドナルドが収まってしまったので、落ちずに済んだ。なので洗い物をサボっている者が落ちる地獄に落ちている。

毎日午後三時にやる気がピークになり、退勤すると一気に萎む。そういう毎日を繰り返している。

帰りのバス、前の二人がけの席に最高明度の画面でインスタを眺めているお姉さんと最低明度の画面であんスタを叩いているお姉さんが並んでおり、良かった。

締め切ってない蛇口から落ちる水滴、みたいな雨に降られた。傘を持ち合わせてなくてよかった側の日だったらしい。トレンチコートには模様ができて、横断歩道を渡っているひとびとの一割が傘を差していた。

朝ご飯をもりもり食べているうちにお弁当チャレンジに失敗していた。こんなことしてる場合じゃない。ご飯を炊きそびれると失敗率が高いとわかっていながら……。おかずが主食かどっちかでもいいから持っていくべき。計算して会計したのに二百円くらい高くておっとなってしまった。こういう出費が痛いのも、特権だな〜。

あれ？ 何もなかったんだ今日、そっか。

書くことがなくなったので洗い物を終わらせた。生ごみの報復を受けた。ベランダに滞在していた雨の匂いを発見。

閃光のように脳内に音が鳴り続ける日々よ。カフェインを飲むと調子が良すぎる。好きな錠剤でも言うか。ビタミンB群、ロキソニン、カフェイン。こいつらに裏切られることはそうそうない。錠剤を飲むというダメージを清々しく晴らしてくれる。

骨が痛い。今にも分解しそうな身体で仕事した。

プシのサビが気に入るすぎて一生聴いてんだよな。機械音に安心する時期。取り入れる音にもいろんな時期があるから、これもネタに尽きたら記録していきたい。

作ろうと思っていた料理って、根詰めて詳細まで考えてしまうと飽きてしまっただけで作る気無くす、これは書こうと思っていた小説にも起きていた現象で、そんなところで連動するなよ。

海に出たところで止まっているドラクエの進行がずっと気にかかっている。

真逆の人間の文章を読んでおり、終始興味津々だった。見事なまでに感性が真逆で、共感を互いに見つけることはできないだろうってことに確かに傷ついている脳細胞がいるのを自覚しながら、読むのをやめられなかった。まだ読む。

ほんの一月前とかの自分の記録を読んで、あー、今だいぶ暗い位置にいるんですね、と自覚するなどした。明るくなりたい。禁酒でもするか。飲酒してる場合でもないし。にしてもなんでこんなに暗くなってしまったんだろう。まあ流れ星も流れている間がいちばん明るいただけだし、願いが叶った人間が燃え滓になってしまうのは仕方ない話なのかもしれない。また新しい願い事を見つけて燃えに行くだけ。

アイドルのことを「彼らは決まってわたしが忘れられないようなタイミングで微笑む」と評していて、可哀想に……。と思った。

うわ〜、意味もない文章を 1000 字も書いた者が落ちる地獄だ……。落ちた人全員と仲良くなれそうで、良いな〜。昨日は珍しく最悪な夜で、夜更かしもしてしまったので、早々に寝たいな。ドラクエ、開けたくない、絶対眠れなくなるから……。でも……。

230408

反吐出し反吐出し、ワン・ツーワン・ツー。

こんな日に日記なんてやるもんじゃない、百も承知。まあ産んじゃったもんは消せば取り返しがつくのでいつも通りの記録。いまバス待ってんだけど、ヒートテック着てるのに凍えてんだんだけど？ 4月？

ここまで言ったんだから明日の今頃にはすべて解決してろよな。

午後3時、耐えきれなくなって家を出て、服を買いに繁華街へ。ご出勤ロードとただかぶりしているのちょっと憂鬱、かと思いきや気持ちの切り替えができる人間なので余裕でご機嫌だった。ひかりが眩しく、あたたかかった。

服屋通りをみつつほどくぐって、まあ妥協点だな〜って感じの服もあったけど、結局手ぶらで帰った……。

服買うの苦手だし気紛れるかなって思ってたけど苦手度合いをちょっと舐めてた。私、服買うのめちゃうちゃ苦手だったんだな。

大きな嫌さはより大きな嫌さで洗うのが正解だなんて帰りのバスで心底思った。大きな好きでは洗えません、ひとの感覚は好きより嫌いに敏感にできている。生存戦略上。

青いブラウスカワンピース、欲しかったな〜。

特にネガティブでも、ない、すべての正常が死んでいるので（ころしているの）自分の状態なんてわかるわけがない。終われば終わりだろ。一日中呻いてるし既に涙目だけど、笑顔の着地をめざしてるこれでも。

あの、本当に本当の話、マジでグループぐるみで付き合いのある友人なので、本当に、最悪全員失うし、事後のフォロー含め、取り返し、多分つかないんだよな…。うまくまとめられるほど器用じゃないので、余計…。

あたしの正体がゲテモノでも付き合ってくれんのかなみんな。付き合ってくれなくても仕方ない、友人がゲテモノって、あたしはいいけど嫌な人も多分いっぱいいて、ここを突き詰めると飛べなくなるからもうやめるんだけど、でも、みんな大好きだよ。ありがとうね。

まあこの失いはあまりにもどでかいので、ぶち空いた胸の穴に何を入れようか今から楽しみなんだよ。

アイドルリッシュセブンを再開した。だれでもなんでもいいよもう。今は助けて。

慰めてくれる友人が存在しないから三日三晩（じゃ済まない）ここで泣き喚くから楽しみにしててね。

正月にこれでもかってぐらい美化した昇華文章（うそだよ、あれは純度100パーのほんとの話）打ったけど、あの快活CLUBの光と匂いと地続きの世界として今日と明日があるんだよ。

この世のすべての失恋に幸あれ。終わったら死ぬまで飲みます。酒を。



正気を保つ制約がないと今すぐにでもアルコールを浴びて明日遊ぶどころではなくなるのでとりあえず会話する予定を立てた、話をきいてくれと懇願している、あろうことかわたしよりふたつも歳下の子に。最悪だ、こんな大人になるなよ、フィクションとして楽しんでくれたらなによりなのだが……。何気に肉声で相談するのが初めてで、こんなザマで告白できるのか？　するが？

理性がないと思いきや、頭を冷やすためにアイスを買うついでにほうれん草が安いことに気付いて買ってきた、あたしはもう本当に、こういうところがほんとうにかわいくなってかわいい！　どうなっても生活がある。喜ばしいね。

あたし世の中のひとが15歳ぐらいで歩く道をたぶん今歩いてる？　それなりの過去を抱えた状態だと、普通に損失が、でかいな～。

実家でカレーライス食べてきた。ギャグ漫画をこんもりと持って帰ってきた。冷蔵庫で腐らせたオムレツを処理した。部屋の片付けはできなかった。来週人間できるか不安。

でも、メルカリの発送しにエレベーターに乗ってる時、この苦しみも悲しみも全部全部ぜ～んぶ棺桶に持っていけるんかあって思ったら、ちょっとふふふってなった。とち狂ってんの？　でもこれまでとこれからで得る宝石ぜんぶ、あたしだけのものだよ～。記憶だけは誰に奪われることもない、失うこともまあそうそうない。なんかさ、よかったね。

良い日曜にしようね。アイスたべます。

230418

眠いんだあ。明日は休めない感じの仕事があつて、わたしは幸福な飲酒によって失恋の剥離に成功して、はやく寝た方がいいんだけど、どうせする後悔ついでに記録も済ませちゃうんだあ。

つって寝ただけ。

こっから今日ね。カラオケ寄っちゃったけど、がんばってちゃんと帰ってきて、ちゃんにご飯食べて、ちゃんとお皿洗って、ちゃんとお風呂入って、ちゃんと眠ろうとしてる。すごいことですよ。

おわりにする、ってすべての振り返りを封印してしまえば、先週一週間の記憶がすぐになくなった。

悪夢みたいな現実が染みついた部屋に帰りたくなかった感情だけを思い出せる。なぜなら今日も感じていたから。本当は布団も捨ててインテリア全部貼り替えて真新しい生活をしたんだけど、そんな資金があるわけないので泣く泣くこのままの部屋で生活するしかない。排水口を洗ったりしていると強かったはずの感情全部が簡単に薄れた。あれは夢だったと言われても、余裕で納得してしまう。そんな勘違いをしないために、わたしのブロックリストには好きな女の名前を入れている。

あの夜のことも記録してやるってうじうじ意地張ってたけど、三ヶ月はやめとく。焦らなくても多分褪せないしね。

人様の字をやっとまともに読めるようになった。あらためて、完全に感情に溺れていた期間だったな。不思議と健康だったような気がする。失恋して良かったことリストとかが手元にあるので。なんか、元気だったんやろうか、もう記録を封印したので読み返せないのですが……。わたしは果たして、元気だったんでしょうか……。

以下、失恋して良かったことリストね。

- ・わたしの周りにいる人間、優しすぎる。元々友達のことは全員大好きけどもっと大好きになってしまったよ〜。

- ・aiko があたしの人生に参入してきた！

- ・家事はサボっても案外 OK〜

- ・人生の膿を八割ぐらい排出できた。あらゆる憂鬱が完全に流血で洗い流されていった。

今のところ跡形もない。毎日楽しい。

- ・気持ちにスペースがたんまりあつて、人と会いまくっても全然苦じゃない。無くしたら死んでしまうと思ってた自我があっけなく死んだ。

- ・多分服の趣味も変わる。わたしはわたしの変容が最も好き。たのしみ。

みんなもじゃんじゃん告白していこうね。うまくいけば恋人ができるし、うまくいかなくても結構良いことがある。お得だね！

月の状態がわかるウィジェットをロック画面に配置している。おかげで天気を置くスペースがなくて予期せぬ雨に降られたりはするけど、新月の日に気付くことが出来る。わたしは新月の日はアイスを食べると決めているので、見逃さずに済むのが嬉しい。

魂が赤ん坊なので、最初は転んで擦りむいて泣いてたはずなのにいつの間にか号泣に夢中になって、それに飽きてなんとなくぜんぶ片付いちゃった感覚がある。魂が赤ん坊なので。

過去の日記を読み返していたら、今の自分と真逆の思想が至る所で発生していて面白すぎる……。になった。いくらなんでも生まれ変わりすぎ。

そうやってまた“なんだかんだ結局ぜんぶ良い方向には進んだよね”みたいな振り返りをして、ぜんぶ忘れた振りをしてね。終わり。おまえは今回それで痛い目を見たんだからな、忘れないでくれな。

ちょうど先週は泣きじゃくってまともに歌えなかった aiko の歌を今日は穏やかに歌うことができ、こんなもんかあ、って思う、本当に。

好きな女のストーリーを無視できていて、えらい。

母性ちゃんに結局洗いざらい事の経緯を話してしまった。そこそこにグロい事象にもかかわらず笑顔で丸呑みしてくれて、懐がすごい。心の底から感謝している。ほんとうに。

ぜんぶ喋り終わった後に「今の話の相手グループの中におるんやけど、誰やと思う？」って訊いたら（最悪でごめん…。）三番目で当てられて へえ〜… になった。

「どこの極悪人やと思ったら」とコメントされてしまって笑ったけど、わたしの悪意に原因がある、ごめんね。まだまだ生傷だから許して。

もしかして結局恋の話しかしていない？ 心外……。

徳島に逃げて夜を越してから、渦潮を見てきた。きちんと雨が降ってた。

外国人の父子と道を共にすることが多くって、手を繋いで、仲睦まじくわたしの前を歩いていたのが印象に残っている。約束がなくても、言葉がなくても、安心できる関係がある。本当に望むなら、ひとはいつでもだれかとそれを結ぶことができる。

徳島、というか四国、だいすき。そこかしこで海をみることができた。淋しい気持ちごと包んでくれてた気がする。

好きな女といずれ友達に戻れるのかどうかはまったくわからない、でも、わたしが大事にしていた記憶を、彼女もまた大事にしていたことを確かめ合うことができて、それだけは本当に良かったことで。まあ別に悪かったことなんて全然ないんだけど。

あ、強がったな。普通に二度と会いたくないと思ってますよ。

日記はほどほどに再開したいな。とことん部屋が終わってるので早く片付けたいね。それ以前に無抵抗で帰宅できるようになりたいね。本当によ。安くない家賃払ってるんだからさあ。

四月、もしかしてもうすぐ終わる？ やだな～。楽しめたかったな～。

今年の夏はなんとなく楽しみなんだよ。夏は嫌いなんだけどね。またふらっと徳島に行きたいな、次は晴れた日に。

ああ〜。馴染みのある日常のリズム。雨は最悪。とんでもない眠気とだるさがあった。無茶のツケを払うターンかな。やだなあ。

明太子のパスタを食べた。冷凍の。この部屋で暮らし始めてからもう三回目くらい。ズッキーニも炒めた。これは二回目。恒常の美味。徳島ラーメンを茹でようと思ったけれど、一度家に収納されてしまった食物ってなんとなく手を出せない。うだうだしながら休日に食したりするんだろう。たべものが駄目になりそうな時だけ胃袋がみつつになればいいのに。

過去の分岐点の、選ばなかったその先に執着することがない。ないって思ってたものもあるけど。これだけ根拠のない突発的な選択をしがちな性格で生き抜いてるくせに後悔の記憶がない。良いのか？　それで。まあいいか。いいのか。

低気圧と失恋がたたかい、低気圧が勝った日だった。つよ〜い。

スパイスで満ちた道、郵便局に着くまでの。あのカレー通りで一度カレーを食べてみたい。

「希望の光なんて なかったって いいじゃないか」

洗濯機を回したので部屋が柔軟剤の匂いになっている。

グループの中で好きな女がいちばん気合うのわたしだったんだって。可哀想にね。ちゃんと振れよという腹立たしい気持ちごと、薄めるために夜を越す。

前後不覚の感覚を知ってからひとりでする飲酒が怖い。お酒好きなのに。飲みたいのに。飲酒すると感情がまるごと素直に瑞々しくなるタイプ、だと思ってる、体感。悲しいときは悲しいになるし、嬉しいときは嬉しいになる。涙もろくなるしよく笑う。ほろ酔いの時はね。でも無双に入るともう無です。だから気をつけて。わたしと飲む人間はこれをよく覚えておいてね。嘘です別に良いです。みんな一緒に飲もうね。

つって普通にひとりで飲んだんですけど。

飲酒しながらおこなう家事はしんどくない。飯の準備も皿洗いも片付けも。

停滞している場合じゃない。過去を遠ざけるのはいつだって現在だ。鮮烈に人生をしたい。でも鮮烈な人生って何？

消えない光が欲しいって思ってた。その一瞬のために生きて、その一瞬を思い出しながら生きていけたらそれでいいって。だから持続なんて別に興味なかった。ほら、願い、多分叶ってるよ。どう？

カラオケで観る MV の中の aiko がかわいすぎていろんなことがどうでも良くなりつつある。

落ち込みながら作ったフルグラとバニラアイスを混ぜた悪魔の食べ物、ありえないくらい美味しい。これは……。

この事象で凹んでるのがこの世でわたしひとりだっていう事実、どうしようもなく救いが  
ないけど、まあ失恋ってこういうもんだよな。前向いていくぞ。  
フルグラアイスおかわりしてしまった。許されたい。おやすみ〜。

あの日の傷も無事にすくすく大きくなって、とうとう Love so sweet でぼろぼろ泣く羽目になりました。わたしはおそらくあの曲をもう明るい気持ちで聴けません。どうだ、可哀想だろ。おいに慰めてね。

夢が。いつも途中で終わることが多い。目的地に着く寸前でちぎれる。  
車窓から見た高台に並んだ、くすんでない色の遊具たち。寄り道して買ったアルコール。  
妹。晴れてはいなかった。なんとなく好きな雰囲気だった。彩度が低かった。

作り話をしたくなっていた。手に入らないものを手に入れる唯一の手段だった、これが、いつでも。二次創作も見たいものを見たいからしていた。

年始に、適当に振った恋人のことを思い出す。色々と人を切り捨てた経験を持っていて、そのツケも背負ってんだろうけど、やっぱり通っておいてよかった道。わたしは理解ができないものに執着してしまうから。

“あなたじゃだめだった”、そこに理由なんてないし、あったとして伝えることに利はひとつもない。「知らない方がいいこともある」という概念を今までまったく理解できなかったけれど（わたしはすべてを知るために生きてる）、これはそういう事象のうちのひとつなんだろうとわかることができたので、良かった。

まだ首もすわっていない赤ちゃんを見かけた。愛おしそうに顔を寄せている母親も。パン屋の前のバス停で、あまりにも微笑ましい日曜の朝だった。  
母子が愛の完全体だと、思ってしまうのはきっといつかやめられる。光が強くて熱かった。もう夏。

好きなアイドルはあまりにも実家感が強くて、キラキラシャンシャンが好きでのめり込んでいた時期もそりゃあるけど、既にそのターンは通り越してるから、彼らを失ったら容易に絶命する。

日傘を毎年なくす。どこにいったの？ 今年は猫の日傘にしました。かわいい〜。

間接照明を比べたくてニトリに行ったけど、あまりの商品数に生活のフレームがぶれてしまった。家にはないものばかりが並んでいて混乱して、なにもわからなくなってしまった。大きい家具屋に来るといつもこんな気持ちになる。

かつ丼をフードコートで頬張っていた。わたしのたましいの燃料。短歌をやるぞ、と急に閃き落ちて、その足で本屋に向かって本を三冊ほど見繕って買っていた。ねえ今財布から出したお札、定期代だぞそれ。

もごもご文字をいじって作った短歌が四つほど。しばらくは自分ひとりのおもちゃにする。できた個数だけここに報告しよ。  
みそひともじへの信頼度が低くて、足りるわけないだろうと思っていた。高校の時とか。今は短歌の包容力に満面の笑みで頬擦りして、身を投げ出して甘えている。だってわたし人間だもの。ねえ、これからよろしくね。

生活を綺麗にラッピングしないと耐えられないのだろうか。ここまでして。平坦にも平凡にも耐えられないのだろうか。思春期は一生終わらない？ あたしはいつでも三十で人生に区切りつけるつもりで生きてるよ。

通勤特急ぐらいで生きてるね、と言われた。鈍行でいいんじゃない？ とも。わたしは全部を味わってから死ぬのに？ 到底足りないのに？

鈍くなるのがいちばん怖いよ。死んだみたいに生きたくない、二度と。

たいして飲んではいないのにひどく酔った。酒の回り方がおかしいことには二杯目くらいで気付いていたのに知らないふりでいつもの量を飲んだ。アルコールなんかに狂わされる視界がくやしい。やるならもっと全部めっちゃめっちゃにしろよ。すこしの水分で中和なんてされてくれるなよ。

漣みたいに愛をしたい。でもいつだって恋は台風を生み出すばかりで愛に繋がってくれない。だからほどこすこの対処は妥協じゃないって言いたい、でも知ってる、わたしはこの石のことを一生思い出し続ける。隣人を慈しみこそすれ、いつまでも愛することなく。

バイオリズムのせいだな。もう少し冷静に記録するつもりだった。嫌えないんだから救えない。明日は仕事、来週は長期休暇、気は狂わないまま、日々は日々のまま。寝る～。朝には消したくなるね、多分。免罪してくれるならなんでもする。



そんな気分でもなかったしもう眠いんだけど。明日早起きする気持ちはあったんだけど取りやめ。記録。茄子にチーズは邪道なのにめちゃくちゃ美味しくてやってしまった。煮浸しだけを愛していたい。

11 時ごろに外に出ると、そのまま吸ってたら悲しくなってしまうような匂いがした。雨は止んでいて、冷やかさが際立っていて、雲が悶々と空を覆っていて、記憶の中でなぞるとそうでもないのに、その時はそそくさと中に戻った。

怖い気持ちを思い出すことが多い。なんかようわからんもろもろ、誰にでもあるんだろうけどこういうのは。バスに乗ってたら隣のおじいちゃんが醤油差しに入れたカエルを差し出してきたり、居眠りのふりして体重を何度も寄せてきたり。こわい～やめて～。思い出ただけで心拍数上がった。

忘れないことを忘れても

忘れられないことを忘れても

忘れても 忘れても

まだまだまだまだ忘れない

柴田聡子 「忘れない」

最近聴いてると落ち着く歌詞。それでも忘れない気持ちごと思い出せなくなる日はちゃんと来る。記録なんてしなければ。

短歌もひとに見てもらえなかったらつらくなるのかと思っていたらそうでもなかった。二次創作は誰にも見てもらえないと下げることが多かった。

記録とおんなじ類か。わからん。はなからないものは失えない。自分の欲を殺し慣れていてうまく認識できない。

美容院に行った。美容師とは高校生からの付き合いで、あそこに行くのと外し忘れた仮面がまだあの人の中のわたしに引っ掛かっているから、かぶる感覚をまた思い出せる。

過去の友人に会ったりするとそういうことが起こる。表向きには陽気だった時代もあった、いや実際おそらく地は陽気なんだ、でもその上に多大な陰気があるから……。ミルフイーユだからあたし……。

髪傷んでっからケア頑張れな！と言われたけど原因失恋だろ絶対。になって憎らしい。結局周りの人間ほとんどにくっちゃべっている失恋の話は流石に美容師にはしなかったが。よく美容院出向けるまで回復したよ。先週はぼろぼろだったんだなそういえば。

髪に関するすべてを端折った入浴は心的負担がゼロで、風呂の九割は髪だったことが発覚する。

足が痒い。最近是一日がすぐに終わる。チーズの賞味期限って意外と長くて、感心した。  
半年先まで使える定期が手元にある。家族との距離感がずっとわからない。  
ああなんか叩いても叩いても暗いのしか出てこないから！！寝る！！恨むべきはホル  
モンバランスのみだから……。こわいはやめたいけど……。かわいい髪色全員褒めてくれ  
たのむ……。かわいい短歌もツイッター載せてくから見てってくれたのむ……。

横になっている。4時起き。ゴールデンウィーク？ うーん。卵かけご飯を食べてゆるやかに準備をして速やかに眠る。義務をしようとしたら自分の不注意で済ませられない事態になったので最悪な気分を浴びつつ、まあまあ仕方が無いので落ち着いて余暇を味わう。部屋が最悪になっている。汚いし散らかっている。片し甲斐もあるけどとにかく義務終わらせてからにしたいんだよな。いや忘れる。寝る。

気が狂っているので出勤前に勉強した。朝の善性、強すぎて心が死ぬ。飲んだくれたサラリーマンはひとりもいなくて代わりにおばあちゃんと少女がごみ拾いをしていて気が遠くなった。

夜型の生活にも朝型の生活にも飽きる。どちらでもない。

スリープタイマーはうっかり起きちゃったタイミングでしっかり起こしてくるから気分が悪くなることもある。起きれてしまうから余計にね。

やめたいならいますぐやめろ、の道と相性がいいのかな。やりたいことやりたいな！ってのらりくらり挑んだ転職チャレンジも第二言語チャレンジも続かなかった結局。「疲れてるんならやめれば？」の魔法がすごい。絶対やめねえから、になってる。やめろよ。普通にお金ない。

錯覚で幸福になりたい。短歌はふたつつくった。AIに読んでもらうと意味っぽいのを読み取ってくれるから永久機関に簡単になれる。うれしい。

明日義務終わらせた瞬間酒開けてやるって思ってるから。

雨は降らないで。おねがい。はやく部屋を片付けたいよ。ストレージもいっぱい腹が立つ。スーツケースひとつで生きていきたいってんの。そうしょ？ そうする。

言った端から本を買う。切れない縁ばかりが目につく。

「誰ひとり記憶にさえなれずに」て、歌詞が好きで。はっとする言葉いっぱいある。「耳を塞ぐイヤホンにもきみの声を探している」「どこにでも行けるよなんてそんな嘘をついてまで」「君の秘密になりたい」「逢いたくなかった時の分まで寂しくなった時の分まで」「寄りかかるの苦手なのわかる なら並んでいてよ Dear」「誰とどんな約束が？」「情けないけど抱きしめててよ」いっぱいあった。まだある。何気なく聴いていてもちゃんと耳が喜ぶ言葉。

家に帰れなかった時期を経たので家に帰れるだけでえらいよ。えらいね。

なんか疲れた。色々としがみつすぎなんだと思う。わかんない。切り捨てすぎ？ うまくグレーでやっていきたいよね。毎日言ってる気もするけど。

230430

早寝早起きしたい、してよ〜〜〜〜。部屋の片付けしか todo がない生活が心に良すぎて。際限のない眠りをしていた。助かった。断捨離もそこそこ。できてない、けど整理はできてる。整っていく感触。

予算を鼻で笑うような金の使い方をしていたことが判明した。繁忙期だったし失恋だったししょうがないけど以後許されなくなるなあ。こうやって気持ちの余裕を削らないとすぐ緩むからこうやってけしかけてるけどドラクエのガイドブック買っちゃった。やる気あんの？ ある。

低気圧で爆寝していた。先々週もこんな週末だった気がする。低気圧が来ると爆寝するしなくなるので勘弁してほしい。気持ちよかった。夢を見た。もう忘れた。

パスピエを聴きながら永遠に断捨離していた。グッズを出し始めたら止まらなくなって全部飾った。やる気あんのかつってんの。あるつつってんの。明日も片付け。

特になんもなかったね。友達と話すなどした。信じてるから裏切るなよというのは脅迫だろうか。

裏切られても別に構わない。そういう切り捨てでひとを傷付けたのは不本意だった、自分に刃物を向け慣れすぎた弊害かもしれない。ごめんねって思う。痛いよねこれ。よく知ってる。

好きな女のことももう失恋済になれたし友達って呼ぶか。

偏見とかって無自覚だから困惑する。っていうこっちも偏見あるんだろうけど。不快に思ったら遠慮なく言ってね、っていうのがいちばん誠実かな。自分の眼鏡を信じないこと。というより相手の正しさを知ること。できてるつもりがいつだっていちばんこわいよね。

五月既に確定休出多すぎてへとへとなんだけど大丈夫なんかなあ、こんなんでも勉強もやれるんかなあ、って思う。さすがに空回りしちゃうかもしれない。ちくちく計画立ててやっていきたいけど十月までに間に合うかな。でも断面としての人生はいつだって輝いてるから、まあいっか、とも思う。気分はいい感じ。はちみつレモン味のほろよいは美味しかった。

何かを間違えたとして、間違えたことに気付けないまんまだろうな、こんなん、と思う。神様も多分呆れてる。ポジティブすぎる。後悔してることもなんもない。してたとしても忘

れてる。誰か助けてほしい。間違ってたよあの時って指差して笑ってそれから抱きしめてほしい。だからずっと許されただけだな。

母に、思いを馳せることが多い。ずっと理解ができなかった。できないだろう、ずっと。そういうものだろう。綺麗で遠いひとだなと思う。ただただそう思う。

母の日が近づいてきて、とうとうお酒を贈れる年になってしまった。早めに買っとこうねえ。タイミング逃すとほんとすっぽかすからねえ。